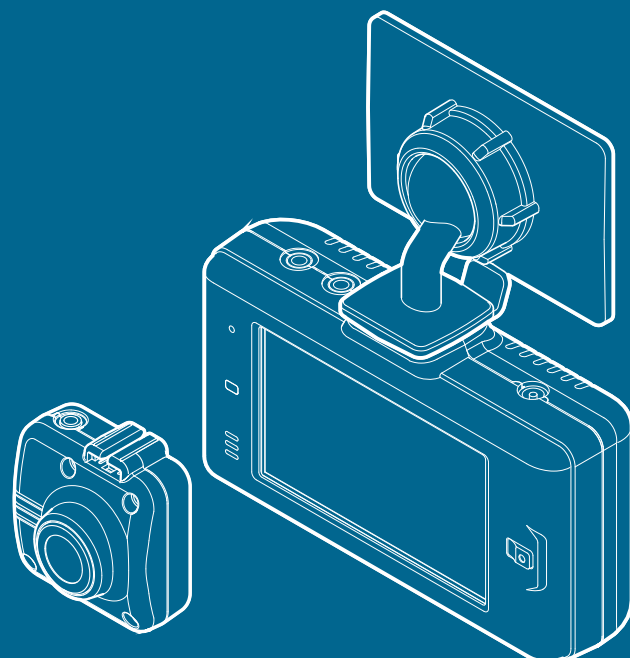




ドライブ レコーダー
DRIVE RECORDER
CS-N210



取扱説明書 本体編

この度は、弊社製品をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、本書をよくお読みになり、本機を正しくお使いください。

本機は、日常の運転をドライブレコーダーで記録し分析することで、安全運転についての改善や、効果的な運転管理を推進し、交通事故の防止および安全運転を促進する目的で製造販売しております。

本機の専用ビューアソフト（説明書含む）は、
下記のURLより機種を選択し、ダウンロードしてください。
https://www.cellstar.co.jp/dlfm/download_viewer.php

Copyright © 2026 CELLSTAR INDUSTRIES Co.,Ltd. All Rights Reserved.

Cellstarは、セルスター工業株式会社の登録商標です。

microSDTMはSDアソシエーションの登録商標です。

microSD Logoは登録商標です。



QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

その他会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

microSD カードについての取り扱い注意事項

microSD カードの挿入／取り出しの際は、本体から DC コードをはずし、必ず本体の動作 LED が消えたことを確認してからおこなってください。

microSD カードは消耗品です。一定使用期間が過ぎるとメモリーセクターの一部が損傷されて正常な録画ができない可能性があります。microSD カードによる不具合が発生した場合は、オプションの microSD カードと交換してください。

microSD カードを新たに購入される場合は、オプションのドライブレコーダー専用 microSD カード（GDO-SD32G1/GDO-SD64G1/GDO-SD128G1）をおすすめします。

本機の設定変更や microSD カードの状態によって、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、録画ファイルなどがすべて消去されます。あらかじめ、パソコンなどにバックアップすることをおすすめします。

パソコンなどで microSD カード内の録画ファイルを変更（削除、追加、移動）しないでください。バックアップはファイルのコピーでおこなってください。

目次

はじめに

各部の名称と機能	5
----------	---

取り付けと準備

取り付け方法	8
本体をフロントガラスに取り付ける場合	11
本体をダッシュボードに取り付ける場合	15
別体カメラをリヤガラスに取り付ける場合	16
別体カメラをリヤトレイに取り付ける場合	19
本体と別体カメラを接続	21
ヒューズボックスから電源を取る場合	22
車両のアクセサリ電源コードから直接電源を取る場合	23
配線処理	24
microSDカードの挿入および取り出し	25
microSDカードの挿入	26
microSDカードの取り出し	28

基本操作

製品の使用方法	29
電源のON/OFF	29
エラーメッセージ	30
タッチパネルについて	31
本機の画面	32
録画方法	36
録画モードについて	36
パーキングモードについて	40

各種設定

各種設定の変更	47
設定の変更方法	47
設定一覧	48
通常時画像設定	54
その他の機能	56
再生モード	56
安全運転支援機能（本体カメラ）	58
キャリブレーション（本体カメラ）	60
安全運転支援機能（別体カメラ）	62
キャリブレーション（別体カメラ）	63
GPSお知らせ機能	64
MyCellstarについて	67
GPSデータ更新	70
GPSデータの版数確認	70
GPSの測位について	71
外部モニター表示	72
セルスター製セーフティレーダーに接続	74
撮影モードについて	75
取扱説明書QRコード表示	76
情報（本体ソフトウェア、技術適合マーク表示）	76
フォーマット	77
システムリセットと強制初期化（強制フォーマット）	78
タッチパネルのキャリブレーション設定	79
ドライブレコーダー専用ビューアソフトについて	80

困ったときは

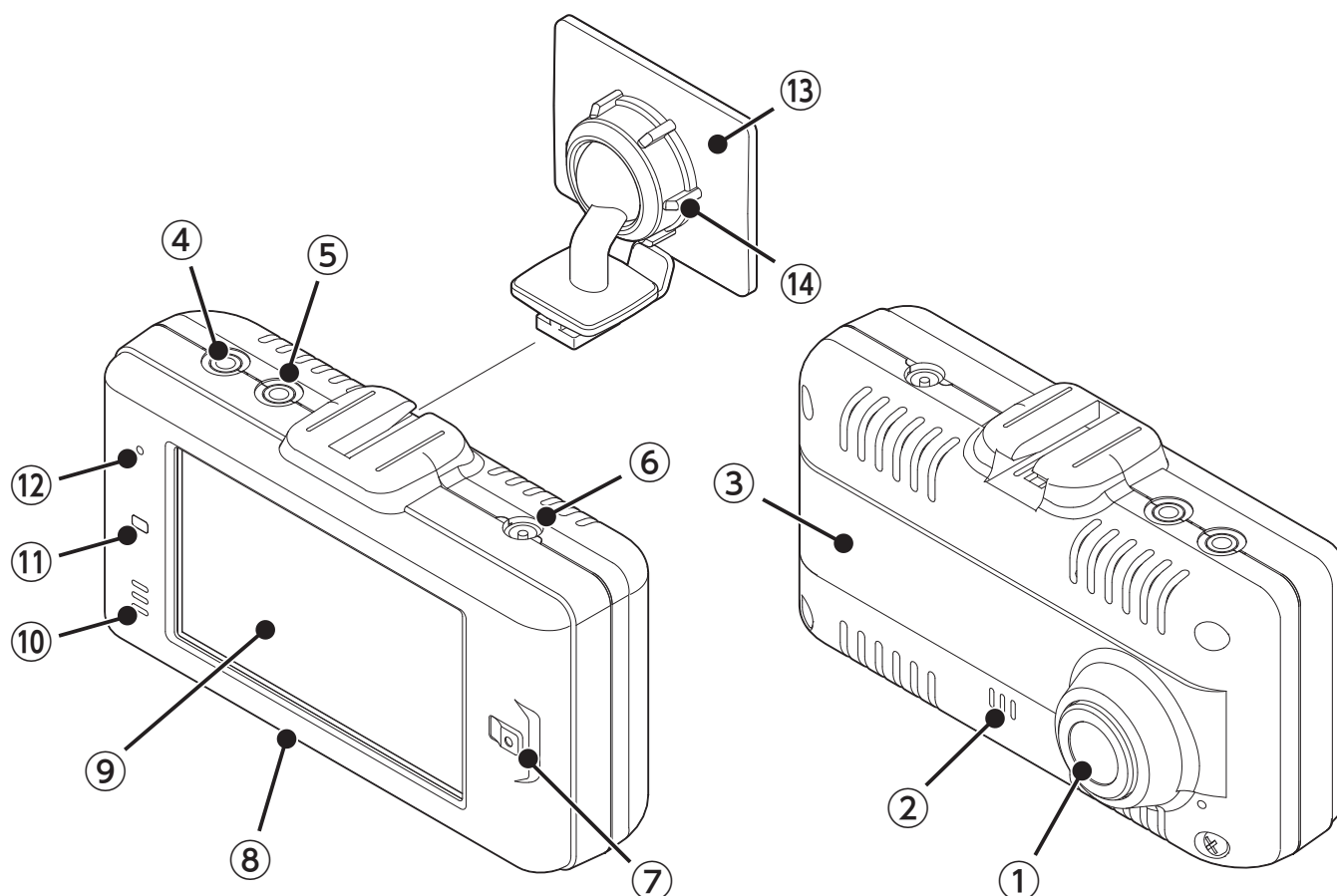
故障かな？と思ったら	81
------------	----

その他

製品の仕様	83
-------	----

各部の名称と機能

本体



① 撮影用カメラレンズ

* レンズに汚れがあった場合、市販の脱脂クリーナーなどでしっかり拭き取ってください。

② スピーカー

各種警告を音声出力します。(モノラル)

③ GPS

GPS 衛星などを受信します。

④ カメラ入力ソケット

カメラ接続コード (L 字端子側) を接続します。

* 端子の向きは入れかわっても使用上問題はありません。

⑤ V-OUT (ビデオ出力端子)

オプションのビデオ出力コード、または弊社製セーフティレーダー接続コードを接続し、映像を出力します。

⑥ DC12V/24Vソケット

付属の直結配線 DC コード、またはオプションのアクセサリプラグ DC コード (3 極 DC プラグ)、常時電源コードを接続し、DC12V/24V を本機に入力します。

⑦ クイック録画ボタン

クイック録画を開始します。

⑧ microSDカードスロット

付属またはオプションの microSD カードを挿入します。

* microSDカードを挿入していないと録画が開始されません。

⑨ 画面(感圧式タッチパネル)

カメラの録画映像、再生、設定メニューの変更画面などを表示し、指でタップして操作します。

* 本体を反転し電源を入れると、本機の画面も反転します。

⑩ マイク

録画中の音声を録音します。

⑪ 動作LEDランプ

本機の動作状態を表示します。

⑫ リセットボタン

本機を再起動します。

⑬ 本体用マウントベース

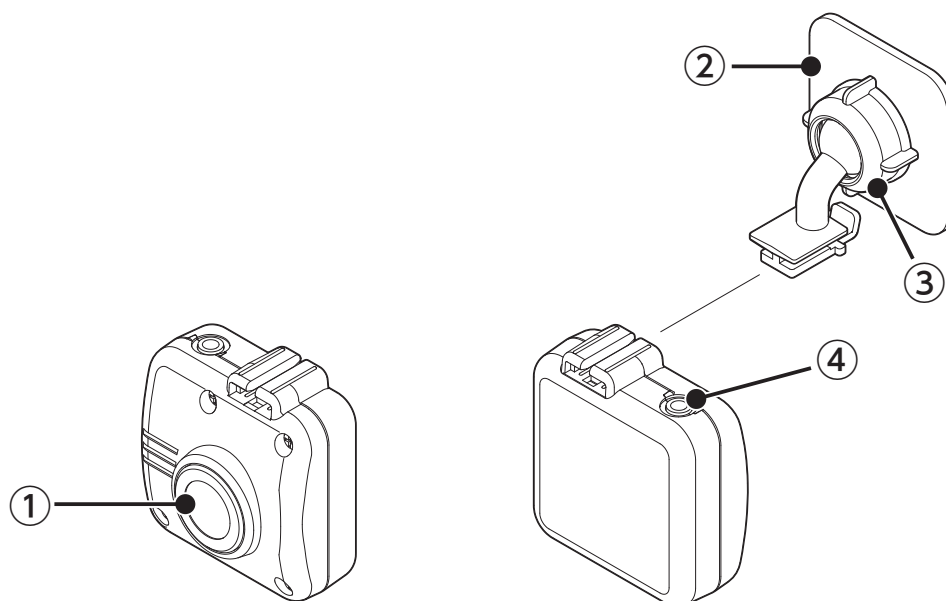
あらかじめ貼られている両面テープでフロントガラスに取り付けます。

* ダッシュボードに取り付ける場合、付属の本体用ボールジョイント（ストレート）に交換して、本体用両面テープ（ダッシュボード用）に貼りかえて取り付けてください。

⑭ 角度調整ノブ

本機の取り付け角度を調整します。

別体カメラ



① 撮影用カメラレンズ

* レンズに汚れがあった場合、市販の脱脂クリーナーなどでしっかり拭き取ってください。

② 別体カメラ用マウントベース

付属の別体カメラ用両面テープ（ガラス用 / リヤトレイ用）でリヤガラスまたはリヤトレイに取り付けます。

* リヤトレイに取り付ける場合、ボールジョイントを付属の別体カメラ用ボールジョイント（ストレート）に交換してから取り付けてください。

③ 角度調整ノブ

別体カメラの取り付け角度を調整します。

④ カメラ出力ソケット

付属のカメラ接続コード（ストレート端子側）を接続します。

* 端子の向きは入れかわっても使用上問題はありません。

取り付け方法

⚠ 警告

事故発生時の衝撃により本体および別体カメラがはずれる場合があります。ガラス面またはダッシュボード（リヤトレイ）表面のマウントベースの両面テープ貼り付け部分の油分や汚れを市販の脱脂クリーナーでしっかり拭き取り、本体および別体カメラを確実に取り付けてください。

⚠ 注意

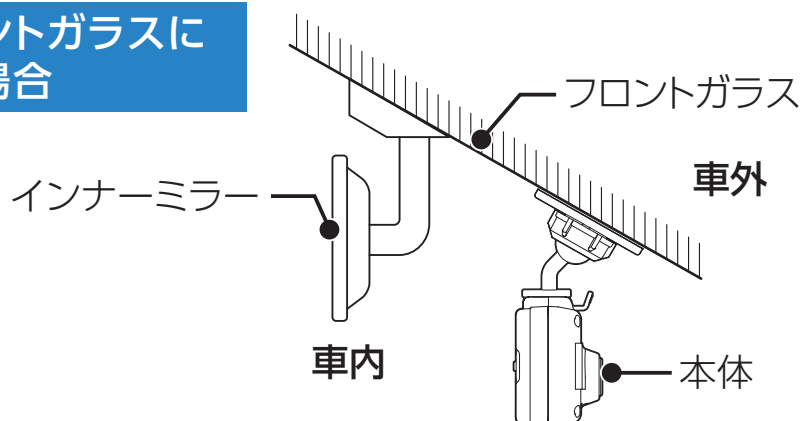
本機を車両に取り付ける前に、次の内容を確認の上、取り付けてください。

- 本機の誤った取り付けは、道路運送車両法の保安基準に違反する場合があります。正しく取り付けてください。
- 本機を安全に取り付けるために、取り付け作業は明るく安全な場所でおこなってください。
- 本機を取り付ける前には、必ず車のパワー（イグニッション）スイッチをOFFにし、キーを抜いた状態で取り付けてください。
- 本機に専用のDCコード（3極DCプラグ）以外のコードを使用しないでください。
- 本体および別体カメラを設置した部分のガラスに汚れがあると十分な映像を撮影できない可能性がありますので、いつもきれいに保ってください。
- 夜間走行時にはカーナビゲーションおよび車両用モニターがフロントガラスに映り込み、録画映像に影響を与えることがあります。映り込み画像が撮影領域に入らないように角度を調整してください。
- 本機は上空からのGPS信号を受信して自車位置を記録します。そのため本体の上や前（車の進行方向）などに金属などの障害となるものがないよう取り付けてください。
- 本体および別体カメラは防水構造ではありません。雨などで本機やコードがぬれないようご注意ください。
- 本機を激突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサーなどの近くに設置しないでください。

本体の設置場所（推奨）

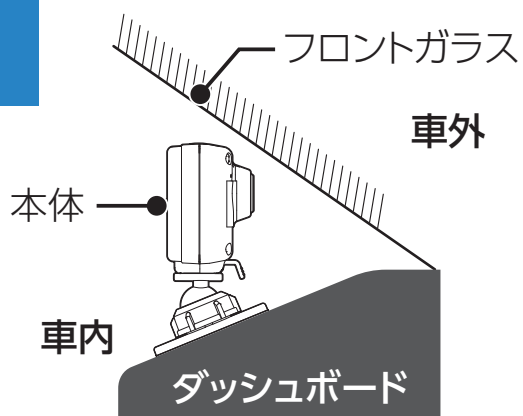
本体をフロントガラスに
取り付ける場合

[→P11]



本体をダッシュボードに
取り付ける場合

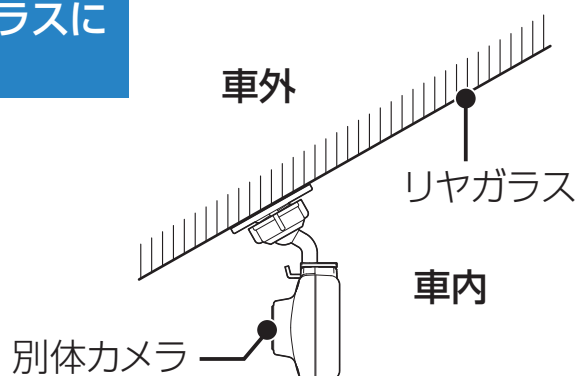
[→P15]



別体カメラの設置場所（推奨）

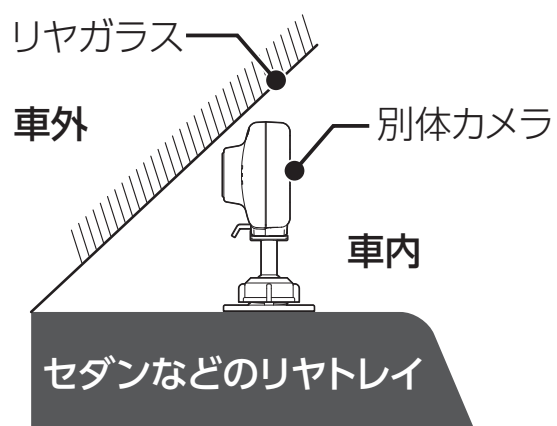
別体カメラをリヤガラスに
取り付ける場合

[→P16]



別体カメラをリヤトレイに
取り付ける場合

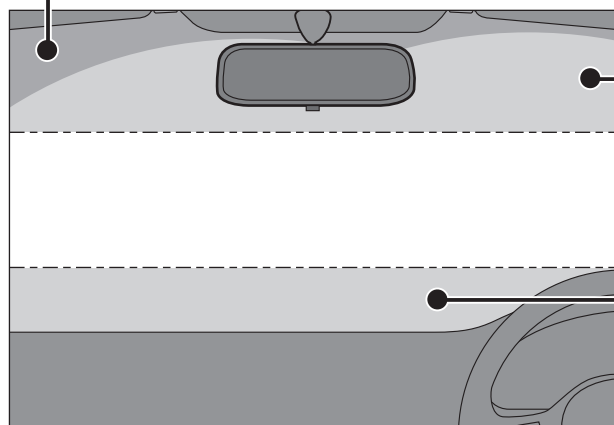
[→P19]



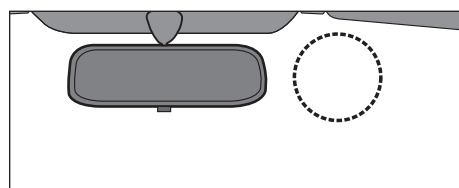
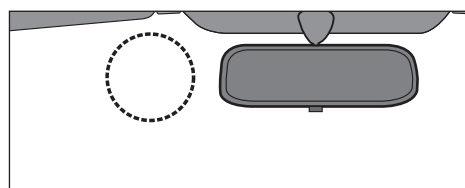
本体をフロントガラスに取り付ける場合

フロントガラスへの取り付け位置（正面）

ワイパーの拭き取り範囲外



フロントガラス上部からフロントガラス全体の 20% 以内またはフロントガラス下部から 150mm 以内でワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。

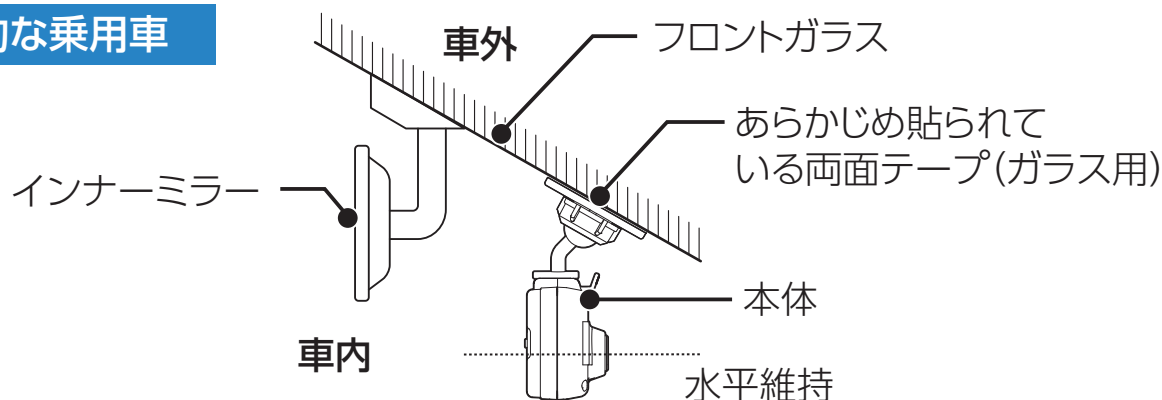


車検シールを避けて取り付けます。

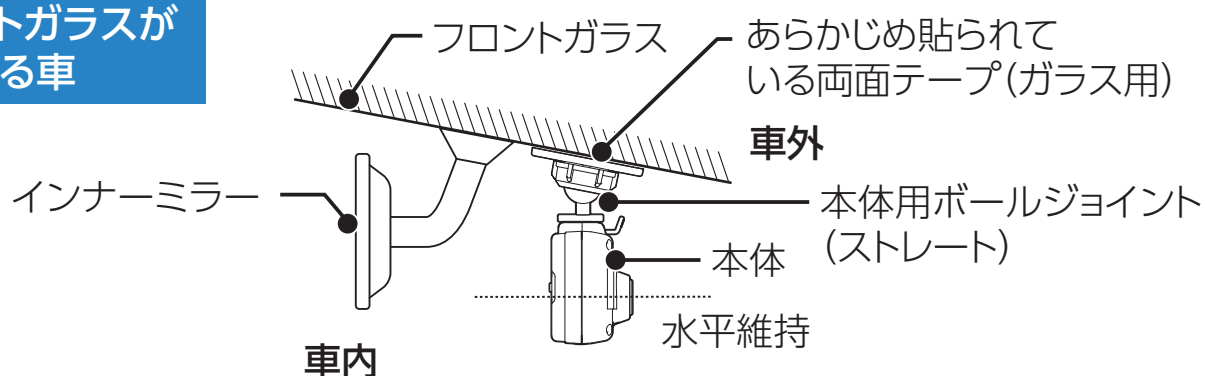
フロントガラスへの取り付け位置（側面）

- 図のように前方を遮ることがないように取り付けてください。
- 図のように本体が水平を維持するように取り付けてください。図のように水平が維持できていないと、正しい状態で録画できません。
- 本体を反転した状態で電源を入ると、本機の画面も反転します。DCコードは本体の取り付けが完了してから接続してください。

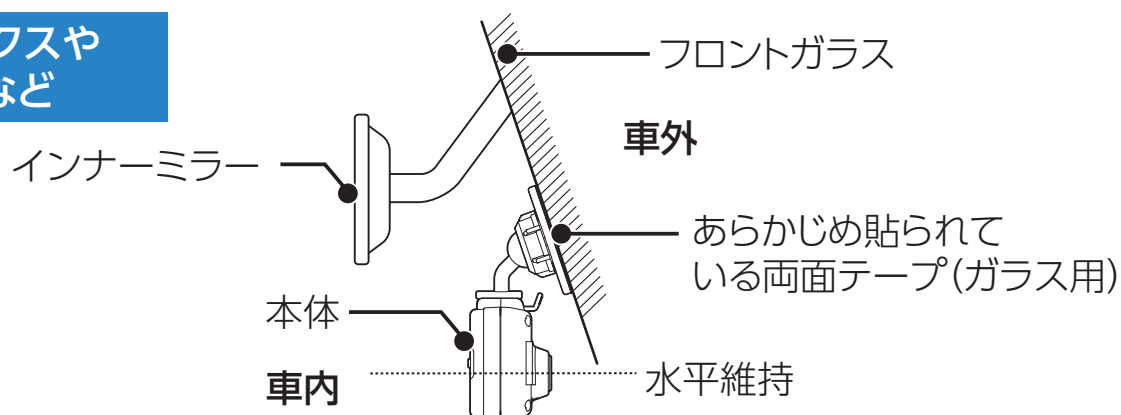
一般的な乗用車



フロントガラスが寝ている車

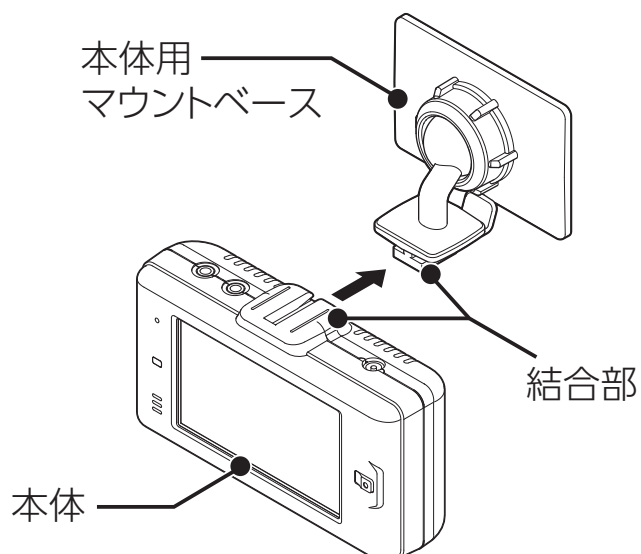


ワンボックスやトラックなど



フロントガラスへの取り付け

1. 本体用マウントベースと本体の結合部をあわせ、矢印の方向に差し込む。

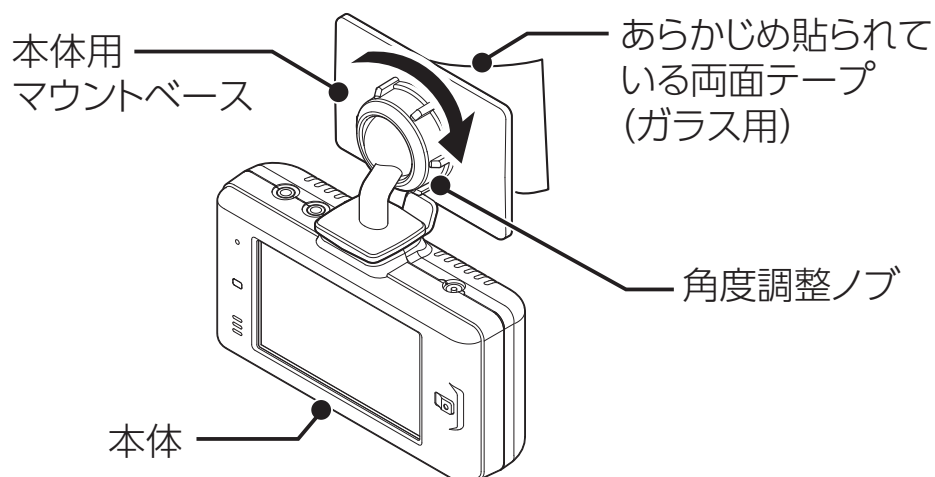


2. あらかじめ貼られている両面テープ（ガラス用）を使用して本体を設置する場所に取り付ける。

* 推奨フロントガラス設置位置を参照して、取り付けてください。

3. 角度調整ノブを右側に回して本体を固定する。

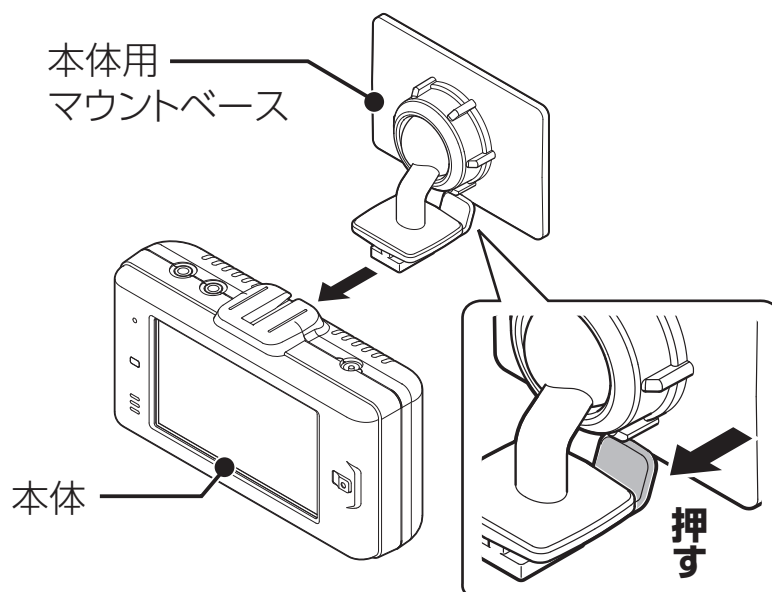
角度調整ノブを緩めると本体の取り付け角度を調整できます。



* 必要に応じて、先に本体用マウントベースを車両側に取り付けてから本体を設置してください。

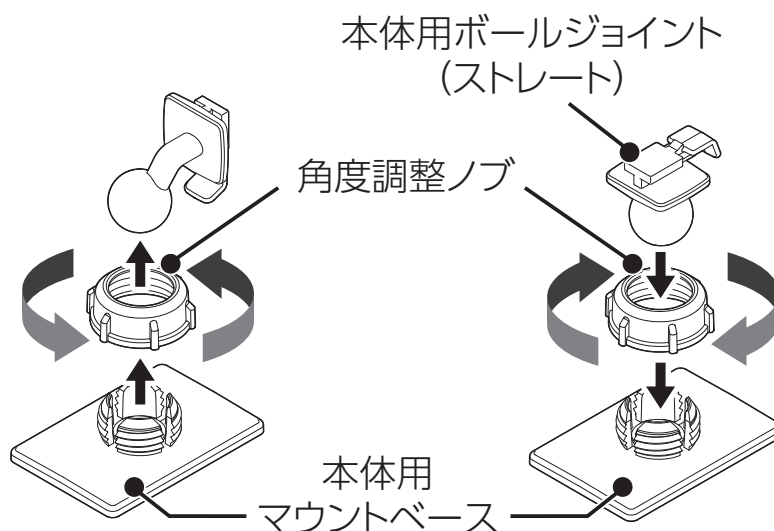
本体用マウントベースから本体を取りはずす

1. 本体用マウントベースのツメ部を押し、本体を矢印の方向に引きはずします。



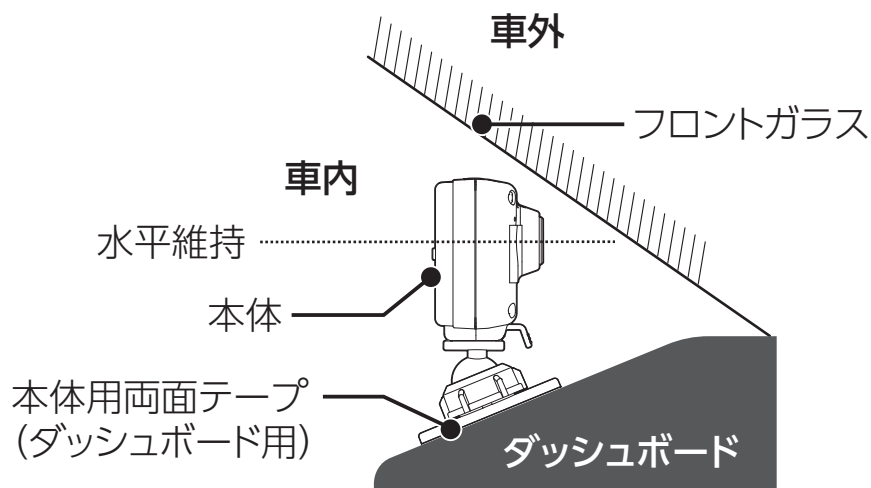
本体をダッシュボードに取り付ける場合

1. 本体用マウントベースから角度調整ノブをはずし、本体用ボールジョイント（ストレート）に付け替え、本体用両面テープ（ダッシュボード用）に貼ります。



* 先に本体用ボールジョイント（ストレート）を角度調整ノブに差し込み、本体用マウントベースに取り付けてください。

2. 図のようにカメラ前方を遮ることがないように取り付けてください。



- * 電源を入れると自動で画面が反転します。
- * GPS信号を受信できる場所に取り付けてください。

別体カメラをリヤガラスに取り付ける場合

* セダンなどのリヤトレイに設置することもできます。【➡P19】

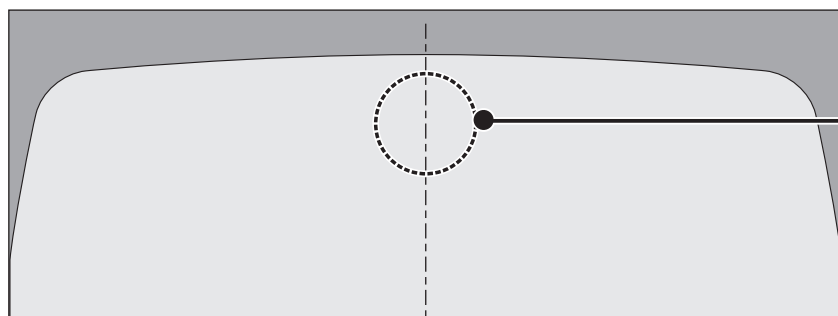
⚠ 注意

リヤガラスに別体カメラを取り付ける前に下記内容を必ず確認してください。

- 両面テープの貼り付け面がリヤガラスの熱線と重ならないように取り付けてください。
- プライバシーガラスやフィルムを貼られてる車両は、夜間や暗い場所では録画した映像が見づらくなる場合があります。
- リヤワイパーが装着された車両の場合、ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。
- リヤワイパー非装着車およびワイパー拭き取り範囲外に取り付けると、リヤガラスの汚れや雨などにより録画映像が見づらくなる場合があります。
- ハイマウントストップランプの直接の光や隙間から漏れた光により映像が赤く見づらくなる場合があります。必要に応じ遮光するなどの対策をしてください。
- 後続車両のライトにより、録画した映像が見づらくなる場合があります。
- リヤガラスが汚れていたり、雨滴が付いていると光が乱反射し、映像が見づらくなる場合があります。
- 後方の安全運転支援機能（煽り運転防止）を有効にするには、「キャリブレーション（別体カメラ）」の設定をおこなってください【➡P63】。

取り付け位置（正面）

図のように別体カメラ後方を遮ることがないように取り付けてください。



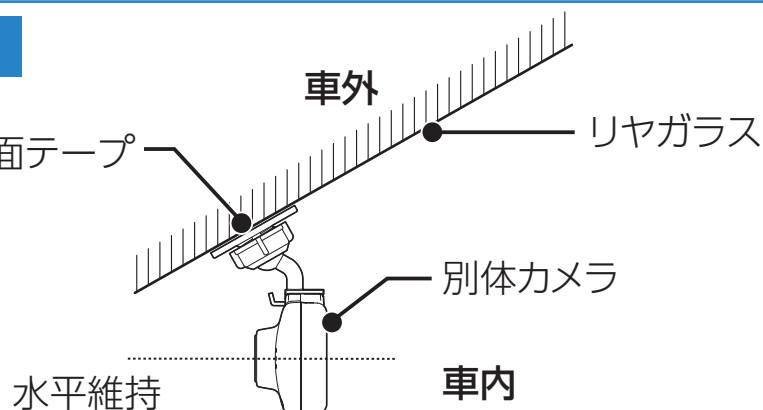
リヤガラスの熱線を避け中央位置に設置すると、最適な録画映像を得ることができます。

取り付け位置（側面）

- 図のように別体カメラ後方を遮ることがないように取り付けてください。
- 別体カメラが取り付けられた状態で、図のように別体カメラが水平を維持するように取り付けてください。図のように水平が維持できていないと、正しい状態で録画できません。
- 取り付け場所によっては、リヤガラスの熱線やプライバシーガラスが映像の邪魔となる場合があります。

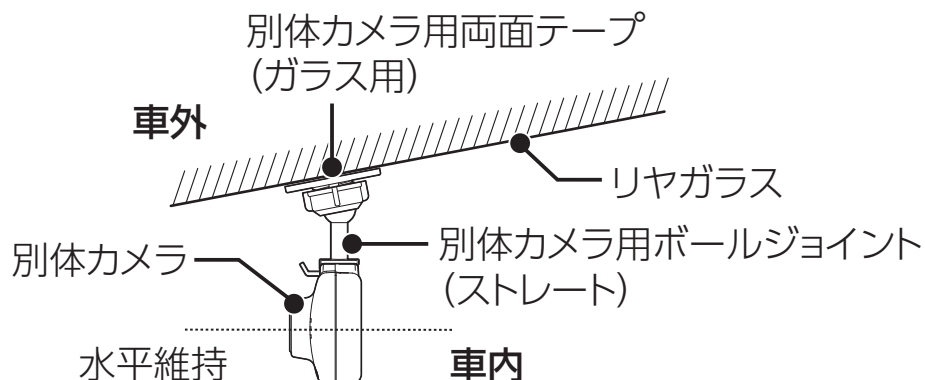
一般的な乗用車

別体カメラ用両面テープ
(ガラス用)



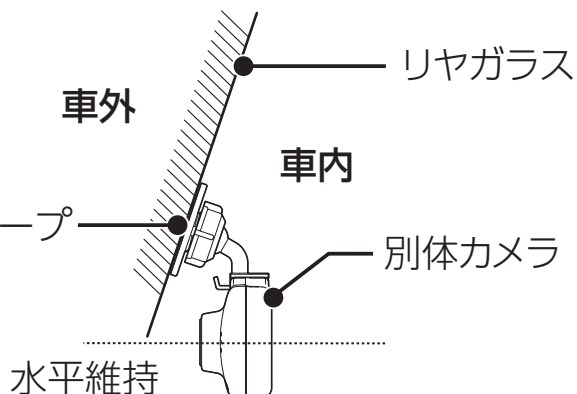
リヤガラスが 寝ている車

- * 別体カメラ用ボールジョイント(ストレート)に交換します。



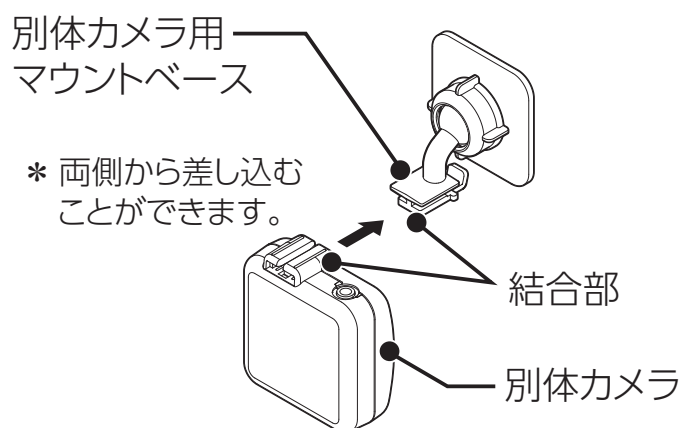
ワンボックスや トラックなど

別体カメラ用両面テープ
(ガラス用)



リヤガラスへの取り付け

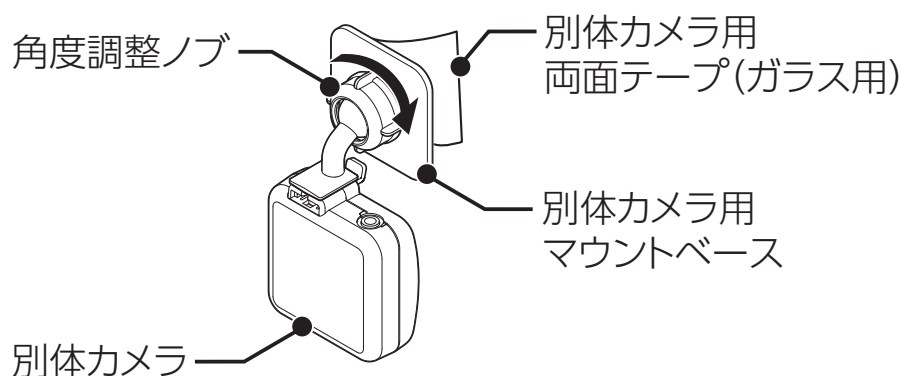
1. 別体カメラ用マウントベースと別体カメラの結合部をあわせ、矢印の方向に差し込む。



2. 別体カメラ用両面テープ（ガラス用）を使用してリヤガラスに取り付ける。

* 推奨の設置位置を参照して、熱線を避けて取り付けてください。

3. 角度調整ノブを右側にまわして別体カメラを固定する。
角度調整ノブを緩めると別体カメラの取り付け角度を調整できます。



- * 必要に応じて、先に別体カメラ用マウントベースを車両側に取り付けてから別体カメラを設置してください。
- * 設定メニューの「別体カメラ録画、表示設定」で「上下反転」設定を「マウントベース上」に変更してください。【➡P49】【➡P53】

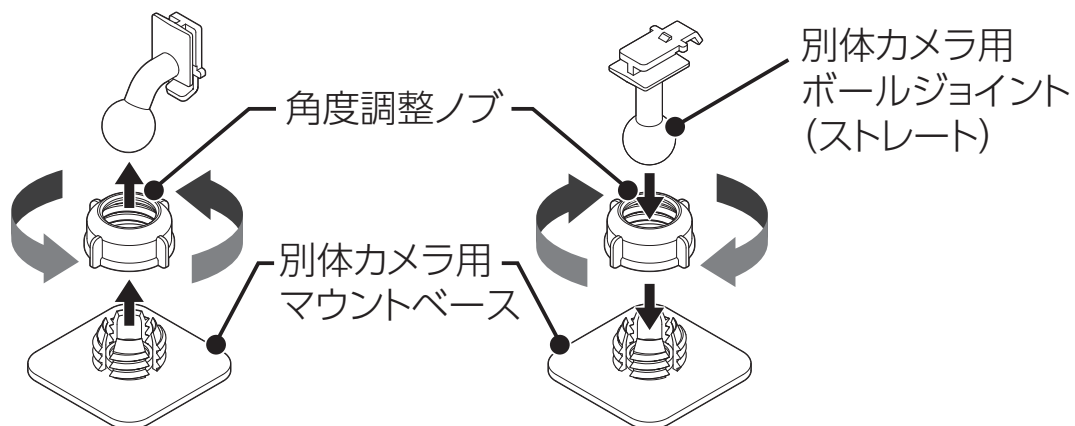
別体カメラをリヤトレイに取り付ける場合

⚠ 注意

リヤトレイに別体カメラを取り付ける前に下記内容を必ず確認してください。

- ・ 事故発生時の衝撃により別体カメラがはずれる場合があります。リヤトレイの油分や汚れを市販の脱脂クリーナーでしっかり拭き取り、別体カメラを確実に取り付けてください。
- ・ リヤのサンシェードなどに問題がないことを確認してください。
- ・ プライバシーガラスやフィルムを貼られてる車両は、夜間や暗い場所では録画した映像が見づらくなる場合があります。
- ・ ラジオアンテナやGPS、地デジアンテナ付近にカメラ接続コードを配線すると、これらの受信感度が下がる場合があります。
- ・ リヤワイパーが装着された車両の場合、ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。
- ・ リヤワイパー非装着車およびワイパー拭き取り範囲外に取り付けると、リヤガラスの汚れや雨などにより録画映像が見づらくなる場合があります。
- ・ エアバッグの動作や運転の妨げにならない位置に取り付けてください。
- ・ ハイマウントストップランプの光や、後続車両のライトにより録画した映像が見づらくなる場合があります。
- ・ 取り付けにより車両に問題が発生した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・ 後方の安全運転支援機能（煽り運転防止）を有効にするには、キャリブレーション（別体カメラ）の設定をおこなってください **【➡P63】**。

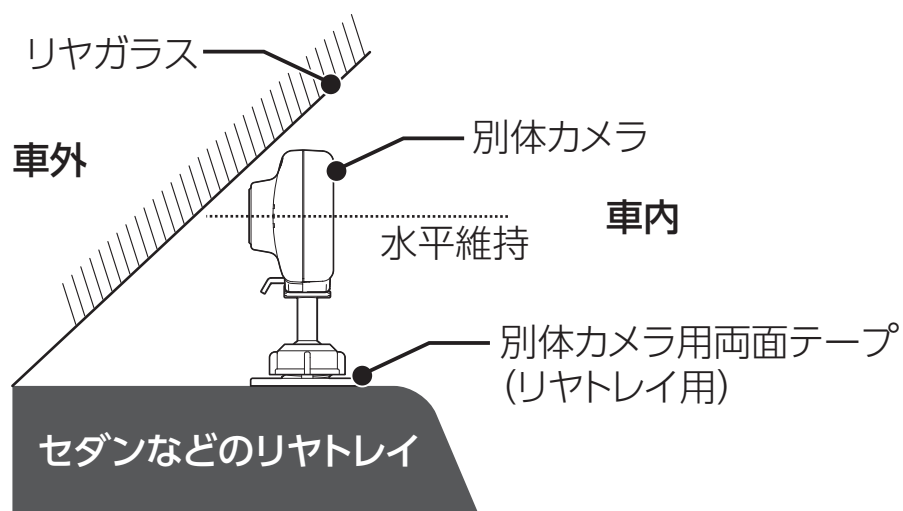
別体カメラ用マウントベースから角度調整ノブをはずし、別体カメラ用ボールジョイント（ストレート用）に付けかえます。



* 先に別体カメラ用ボールジョイント（ストレート）を角度調整ノブに差し込み、別体カメラ用マウントベースに取り付けてください。

取り付け位置（側面）

図のように後方を遮ることがないように取り付けてください。



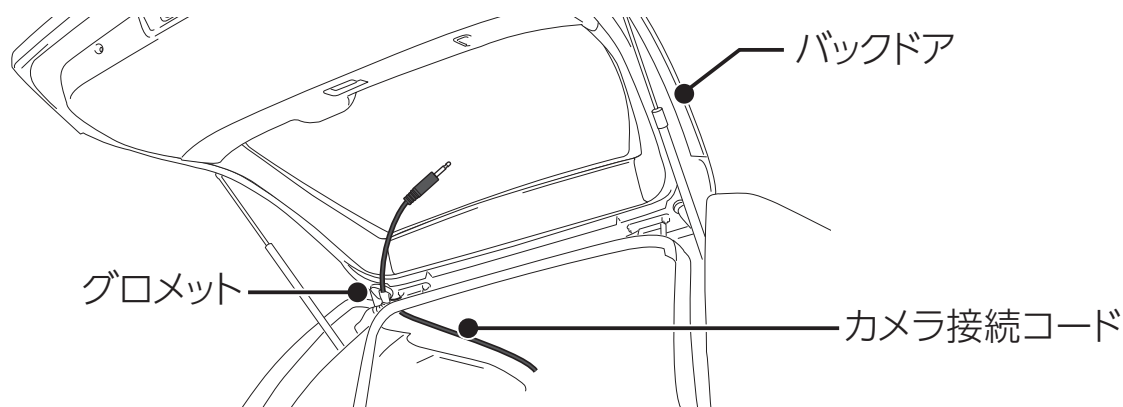
* 設定メニューの「別体カメラ録画、表示設定」で「上下反転」設定を「マウントベース下」に変更してください。【→P49】 【→P53】

本体と別体カメラを接続

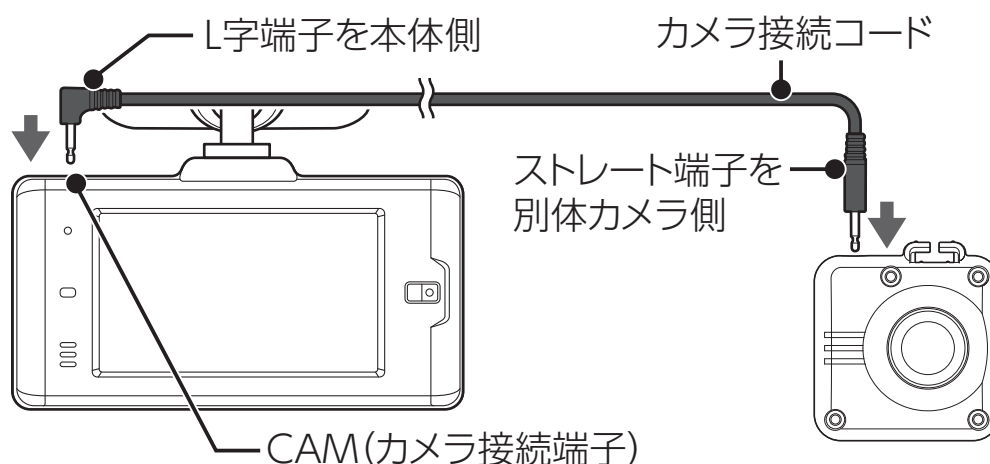
接続方法

1. 別体カメラに接続するカメラ接続コードを配線する。

バックドアがある車は、カメラ接続コードをグローメット内に通して配線してください。



2. 付属のカメラ接続コードで本体と別体カメラを接続する。



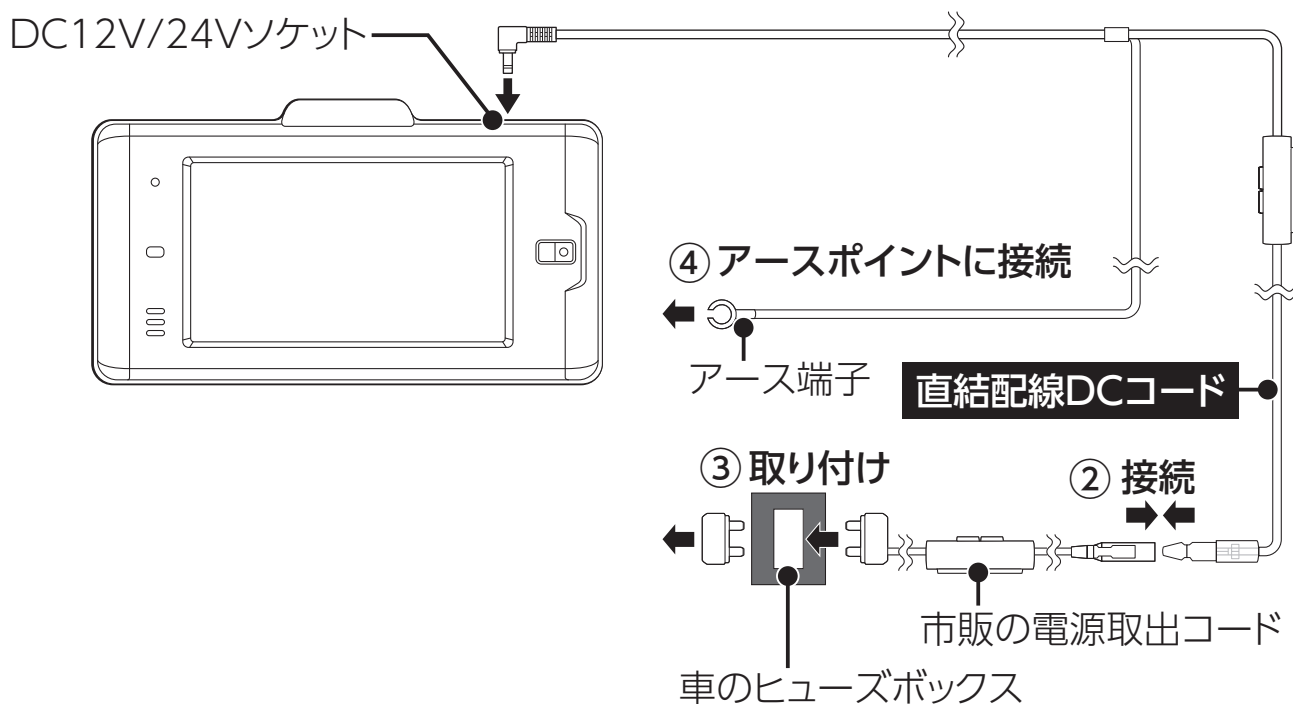
* カメラ接続コードの端子の向きは入れかわっても使用上問題ありません。ガラスに干渉しないよう接続してください。

⚠ 注意

- ・ カメラ接続コードのプラグを奥までしっかりと差し込んでください。
- ・ カメラ接続コードは、雨漏りしないよう配線してください。
- ・ 付属のカメラ接続コードは本機専用のコードです。他機種でコードを流用することはできません。

ヒューズボックスから電源を取る場合

市販の電源取出コード（平型ヒューズタイプなど）を使用して、ヒューズボックスから電源を取ることができます。



1. アクセサリー電源ON/OFFに連動するヒューズボックス内のヒューズ（アクセサリーソケット、ラジオなど）を探す。
2. 直結配線DCコードと市販の電源取出コードを接続する。
3. ヒューズボックスのヒューズを抜き、電源取出コードをバッテリー側に差し込む。
4. 直結配線DCコードのアース端子をアースポイントに接続する。

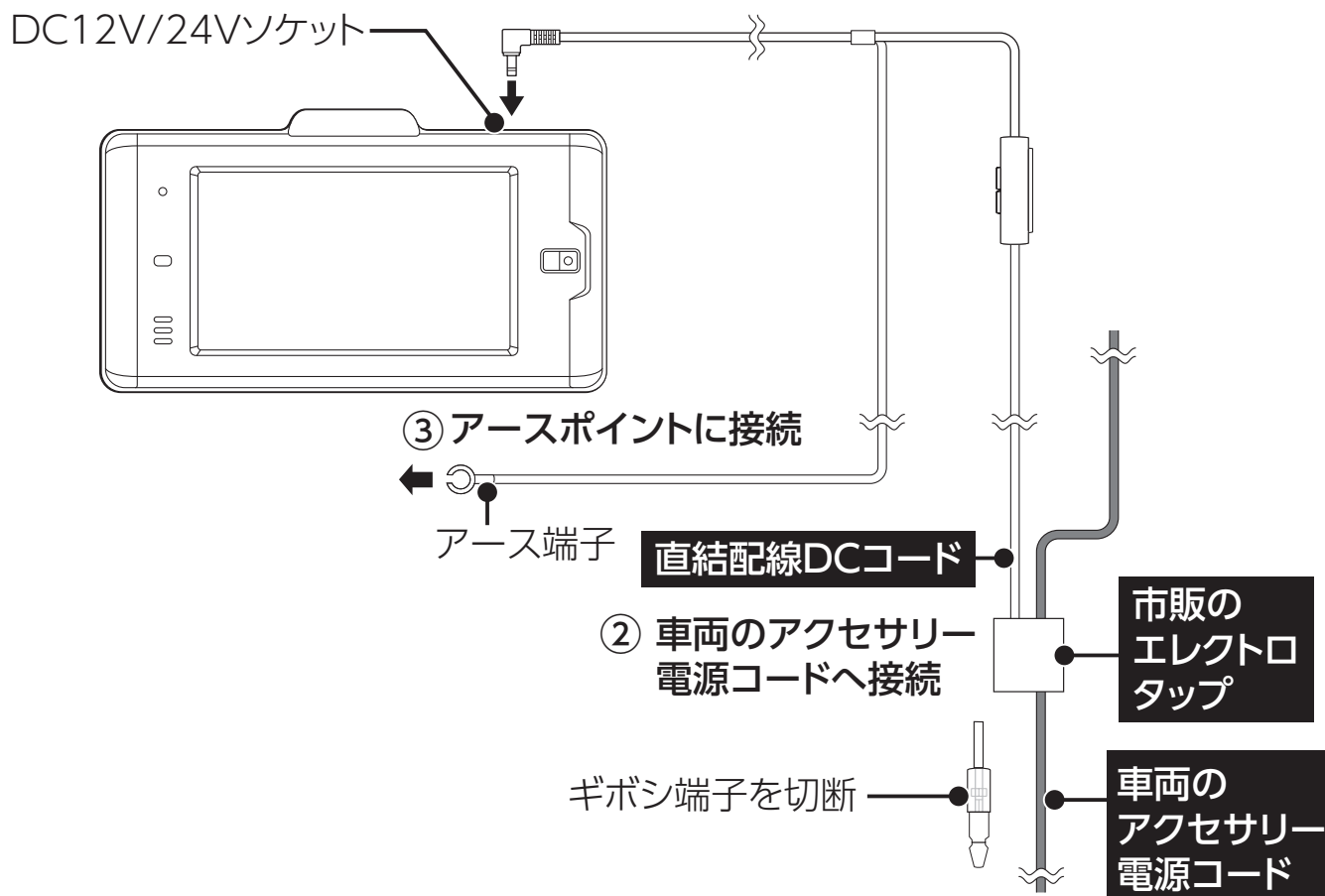
✓ CHECK

パワー（イグニッション）スイッチを ON にして本機の電源が入らない場合は、以下の点を点検してください。

- コード類の接続
- 車、またはDCコード内のヒューズ切れ

車両のアクセサリ電源コードから直接電源を取る場合

市販のエレクトロタップを使用して、車両のアクセサリ電源コードから直接電源を取ることができます。



1. テスターなどで、車のキーをONにしたとき12Vまたは24V、OFFにしたとき0Vになるアクセサリ電源コードを探す。
2. 直結配線DCコードのギボシ端子を切り落とし、市販のエレクトロタップを使用して車両のアクセサリ電源コードへ接続する。
3. 直結配線DCコードのアース端子をアースポイントに接続する。

⚠ 注意**アース端子接続**

アース端子はお車のアースポイントに接続してください。

【取り付けに適している場所】

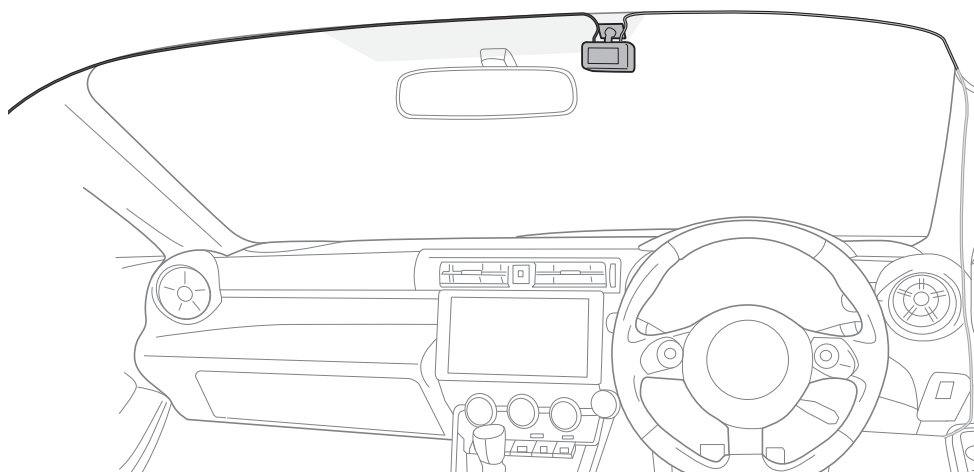
車の電装のアースポイント（コンピューター、リレーなどのアースコードを直接ボディに接続しているところ）

【取り付けに適さない場所】

- アンダーダッシュやセンターコンソールなど樹脂を止めているネジ(タッピングネジなど)
- チルトステアリング装備車で、ステアリングと一緒に動作（上下）する金属部分

配線処理

コード類は運転の妨げとならないように配線処理してください。余分なコード類はビニールテープなどでしっかり束ねてください。コード類を表面に出したくない場合は、ガラスと内張りなどの隙間やパッキン類の隙間に入れます。

**⚠ 注意**

- 配線の際、エアバッグの内蔵されている内張りなどの周囲では、十分に注意して作業をおこなってください。また、エアバッグの内蔵されている部品などをはずさないでください。必要な場合には、必ず車両の販売店の指示を受けてください。コードが可動部分に挟み込まれたり、無理に曲げたりしないように配線処理してください。
- コードを車のダッシュボードなどに固定した場合は、ダッシュボードなどの材質や使用環境により、コードの被覆がダッシュボードなどに色移りする場合があります。十分ご注意ください。

microSDカードの挿入および取り出し

⚠ 注意

microSD カードを使う前に、次の内容を確認してご使用ください。

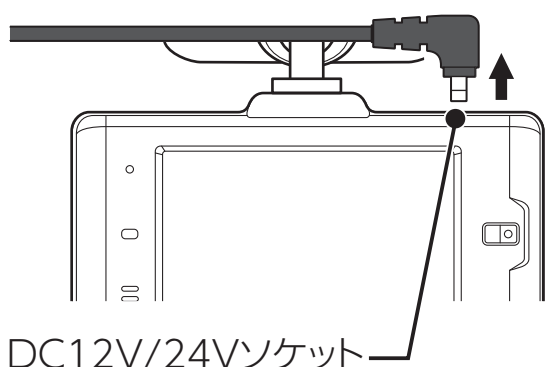
- microSDカードは、指定のmicroSDカードをご使用ください。なお、microSDカードは、本機に挿入されています。指定以外のmicroSDカードを使用されると、データの損失や録画できない可能性があります。
- microSDカードを電源がONになっている状態で抜き差ししないでください。本機が正常に動作しない場合があります。
- microSDカードを取り出すときは、本機からDCコードをはずし、必ず本体の動作LEDが消えたことを確認してください。その後microSDカードを取り出してください。動作LEDが点灯している状態でmicroSDカードを取り出すと録画を終了することができず、録画ファイルへの記録が中断されるか一部分が削除されるなど、場合によってはmicroSDカードが破損するおそれがあります。
- microSDカードをフォーマットする際は、必ず本機のフォーマット機能でおこなってください。
- 本機の設定変更やmicroSDカードの状態によって、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、録画ファイルなどがすべて消去されます。あらかじめ、パソコンなどにバックアップすることをおすすめします。
- 付属のmicroSDカード以外を挿入すると、microSDカード異常エラーやmicroSDカードファイルシステムエラーを表示する場合があります。画面の指示にしたがってフォーマットをおこなってください。
- microSDカードの容量によっては、起動時間が変動（長くなったり）する場合があります。
- パソコンなどでmicroSDカード内の録画ファイルを変更（削除、追加、移動）しないでください。バックアップはファイルのコピーでおこなってください。
- 本体の設定情報は、microSDカード内に保存されています。本機以外でフォーマットや新たなmicroSDカードを使用すると、設定情報が無いため、本機の設定は初期値にもどります。

microSDカードの挿入

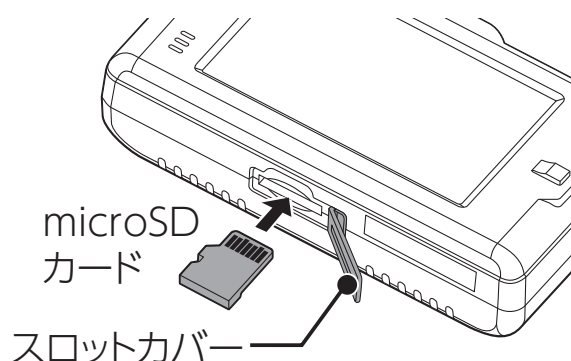
* 必ず、本体からDCコードをはずし、電源がOFFになっていることを確認してからおこなってください。

⚠ 注意

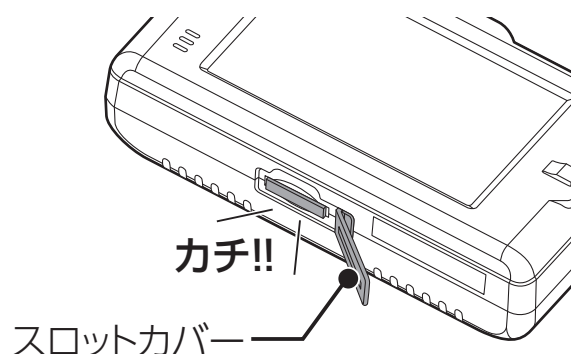
- microSDカードを挿入していないと録画が開始されません。
- microSDカードには向きがあります。差し込む向きに注意して最後まで確実に挿入してください。正しく挿入されていないとmicroSDカードの破損、および誤動作の原因になります。
- microSDカードの接続端子には手を触れないでください。汚れや異物が付着するとカード内のデータが損失するおそれがあります。



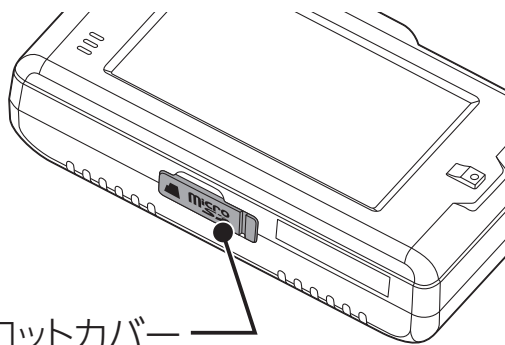
1. 本体からDCコードをはずし、電源がOFFになっていることを確認する。



2. 本体のスロットカバーをめくり、microSDカードの向きに注意してスロットに挿入する。

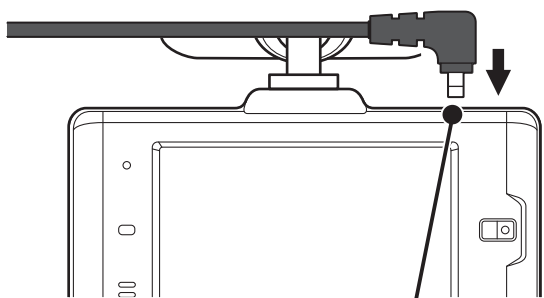


3. microSDカードがスロット内部に確実に差し込まれたことを確認する。



スロットカバー

4. スロットカバーを閉じる。

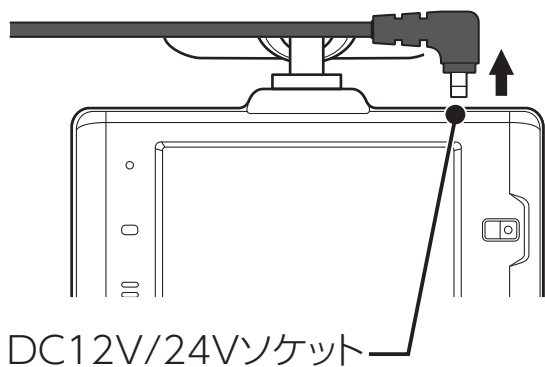


DC12V/24Vソケット

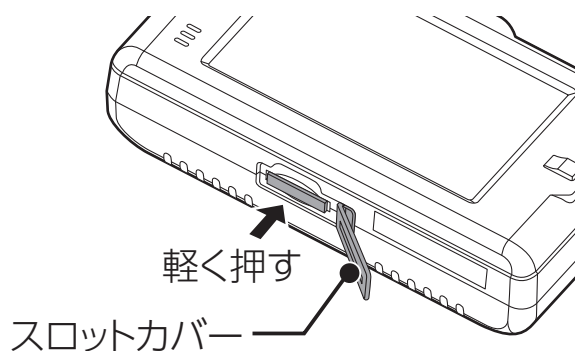
5. 本体にDCコードを接続する。

microSDカードの取り出し

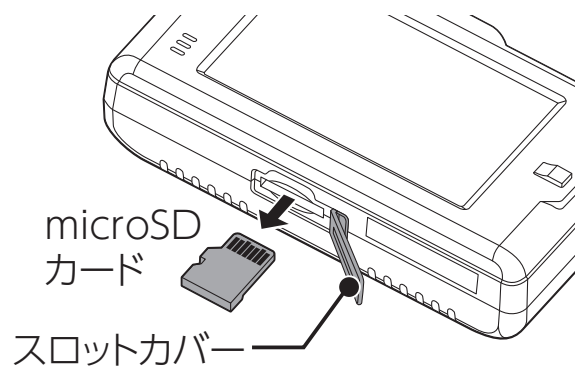
* 必ず、本体からDCコードをはずし、電源がOFFになっていることを確認してからおこなってください。



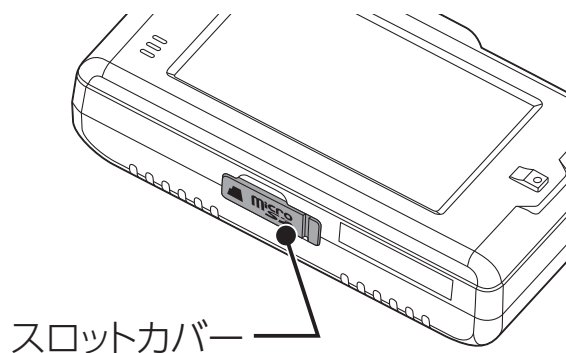
1. 本体からDCコードをはずし、電源がOFFになっていることを確認する。



2. 本体のスロットカバーをめくり、microSDカードを軽く押し込む。



3. microSDカードを取り出す。



4. スロットカバーを閉じる。

製品の使用方法

⚠ 注意

製品を使用する前に次の内容を熟知してください。

- 走行中は、本製品を絶対に操作しないでください。交通事故の原因となります。走行中は、必ず同乗者が操作をおこなうか、安全な場所に車両を停車してから操作をおこなってください。
- 録画は、microSDカードが正しく挿入されているときのみ可能です。
- 録画中にmicroSDカードが取り出されると警告音になり、録画した映像の一部が削除されたりmicroSDカードが破損する場合があります。
- 電源ONのあと、録画の開始まで時間がかかります。必ず録画が開始されたことを確認してからご使用ください。
- 内蔵のバックアップ電池が放電すると、すぐに起動しない場合があります。その際は通電した状態で10分程度蓄電してから起動してください。

電源のON/OFF

電源のON



本機には電源ボタンがありません。車のパワー（イグニッション）スイッチをONにすると、本機の電源がONになり、効果音（♪ピロリロリン）とボイスアシスト（常時録画の開始と現在のパーキングモード設定 * 常時電源コード接続時）を出力し、通常時録画の常時が開始されます。

- * 本機の電源がONにならない場合、「故障かな？と思ったら」を参照してください。【➡P81】
- * 通常時画像設定により本機の画面に表示されるカメラ映像の解像度は異なります。
- * 電源をONにしたときに画面の向きを自動的に反転して調整します。
- * 設定メニューの「パーキングモードお知らせ」を「オン」にすると、本機の起動時に現在のパーキングモードをお知らせします。【➡P45】

電源のOFF

パワー（イグニッション）スイッチをOFFにすると、スーパーキャパシタ*により、最後の録画ファイルを安全に保存します。動作LEDが消灯し、効果音（♪ピ）のあと、自動的に電源がOFFになります。

- * スーパーキャパシタ：高温に強く安全性が高い、蓄電能力を持つコンデンサ。

エラーメッセージ

microSDカード認識エラー

SDカード認識エラー

SDカードが「挿入されていない」
「フォーマットされていない」
「破損している」などの異常です。

microSD カードが「挿入されていない」、「フォーマットされていない」、「破損している」などの異常が発生した場合、動作 LED が消灯し、効果音（♪ポロロン*繰り返し）とボイスアシスト（SD カードを認識しません）を出力し、本機の画面に左のエラーを表示します。

* フォーマットしても本機の画面に「SDカード認識エラー」を表示する場合は、新しいmicroSDカードに交換してください。

microSDカードファイルシステムエラー

SDカードエラー

SDカードのファイルシステム、または
アロケーションサイズが間違っている
ため、SDカードをフォーマットします。
(フォーマットするとデータは全て消去されます)

実行

新しい microSD カードと交換して microSD カードのファイルシステム、またはアロケーションサイズが違ってしまった場合、動作 LED が消灯し、効果音（♪ポロロン*繰り返し）を出力し、本機の画面に左のエラーを表示し、フォーマットの確認をおこないます。

* 「実行」ボタンをタップすると確認画面に切りかわります。再度「実行」ボタンをタップしてフォーマットを実行してください。

カメラ異常エラー

カメラ異常

カメラに異常があります。
カスタマーサービスまで
ご連絡ください。

カメラの初期化エラーなどが発生した場合、動作 LED が消灯し、効果音が出力され、本機の画面に左のエラーを表示します。

* 本機の画面に「カメラに異常があります」を表示した場合は、カスタマーサービスまでご連絡ください。

microSDカード異常エラー

SDカードエラー

SDカードに異常があります。
SDカードを交換してください。

microSD カードの書き込み禁止モードを検知した場合、動作 LED が消灯し、効果音（♪ポロロン*繰り返し）を出力し、本機の画面に左のエラーを表示します。

* 新しいmicroSDカードに交換してください。

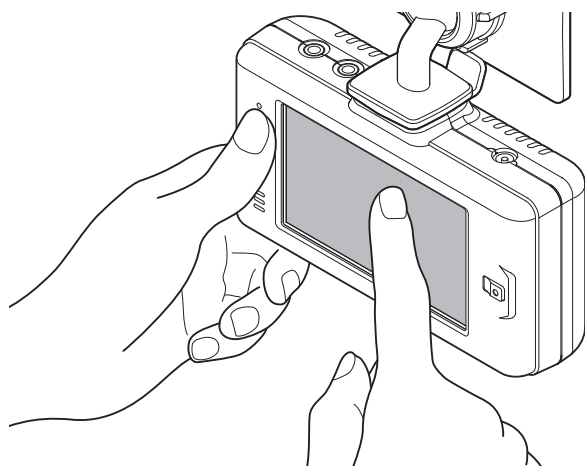
タッチパネルについて

⚠ 注意

製品を使用する前に次の内容を熟知してください。

- 走行中は、本製品を絶対に操作しないでください。交通事故の原因となります。走行中は、必ず同乗者が操作をおこなうか、安全な場所に車両を停車してから操作をおこなってください。
- タッチパネルを強く押したり、先の尖ったもので押さないでください。タッチパネルが割れて、ケガや故障の原因となります。
- タッチパネルの汚れは市販の眼鏡拭きなどで乾拭きしてください。水、有機溶剤および酸・アルカリなどの薬品で表面を拭くと故障の原因となります。

本機の操作は、タッチパネルに直接触れて（タップして）おこないます。操作する際は、本機を図のように片手で支え、画面に表示されたボタンを指先でタップしてください。



タップ

画面をタッチして、すぐ指を離す動作

ロングタップ

画面をタッチして、ゆっくり数えて3秒後に指を離す動作

* タッチパネルの反応にズレが発生した場合、設定メニューの「キャリブレーション設定」にてタッチパネルを補正してください。【➡P79】

⚠ 注意

- 市販の液晶保護シートやシールを貼ると、スムーズに動かなくなる場合があります。
- 片手で本機を支えながらタッチパネルを操作してください。本機の傾き方が変化すると3Gセンサーによって機能の一部に影響が出る場合があります。誤作動を起こした場合は、傾きをもどし電源を入れなおしてください。
- 操作の実行は、タッチパネルをタップして指を離れたときに判定されます。またタップした場所と指を離れた場所が大きく移動していた場合、正しく判定されない場合があります。
- 本機のタッチパネルは感圧式です。しっかりタップして操作してください。また2箇所以上同時に押すと誤作動の原因となります。
- 本製品のタッチパネルは感圧式のため、タップした際に、画面が沈んだような状態になりますが、正常動作です。

本機の画面

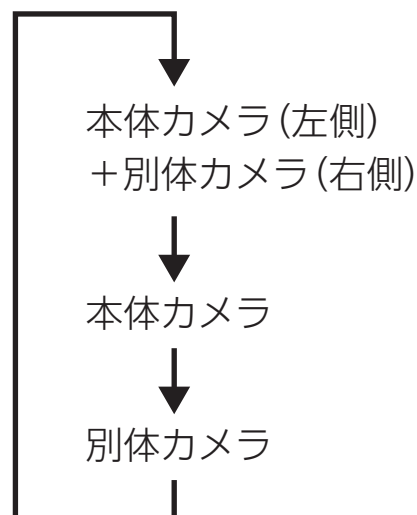
本機の電源がONになると、自動で録画モードの通常時録画を開始し、次の画面を表示します。画面をタップして、モード切替画面から設定メニューの変更や録画映像の再生などがおこなえます。

本体カメラの映像 別体カメラの映像



* 本機の設定やオプションの接続などで画面の内容は変わります。

別体カメラ接続時、画面をロングタップ（3秒後指を離す動作）すると、本機の画面に表示される映像が次のように切りかわります。



- * 再生する場合は「再生モード」【➡P56】、設定メニューの変更は「設定の変更方法」【➡P47】をご覧ください。
- * 工場出荷時の表示状態となります。
- * アイコン表示オフ、V-OUT時は、画面をタップするとモード切替画面に切りかわります。

画面アイコンの種類

常時録画の画面(別体カメラ接続時)



常時録画の画面(別体カメラ未接続時)



アイコン	内容	
① 録画モード	● REC	常時録画：タップすると手動でクイック録画を開始します。
	● EVENT	イベント録画：録画中は操作できません
	● QUICK	クイック録画：録画中は操作できません
② パーキングモード	オン パーキング	アイコンをタップするとパーキングモードのオン/オフが切りかわります。 [➡ P45] * オプションの常時電源コードを接続すると表示されます。
	オン パーキング	
	オフ パーキング	

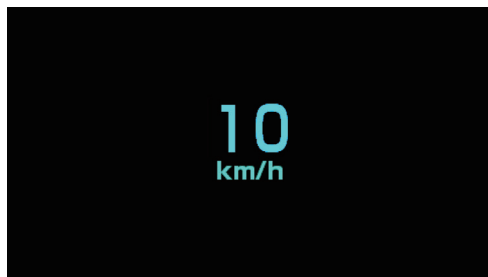
アイコン		内容	
③ 映像再生		アイコンをタップすると再生モードにショートカットします。【➡ P56】	
④ 通常時画像設定		カスタム	タップすると画像モード設定にショートカットできます。【➡ P48、P54】
		高画質	
		標準画質	
		長時間	
⑤ 本体カメラ設定アイコン		ノーマル	タップするとカメラ設定にショートカットできます。【➡ P48】
		HDR	
		夜間補正	
		HDR 夜間補正	
⑥ 年月日		内蔵時計の年月日を表示します。 * 内蔵GPSで更新	
⑦ MENUボタン		モード切替画面に切りかわります。	
⑧ 時間		内蔵時計の時間を表示します。 * 内蔵GPSで更新	
⑨ GPS		GPS を測位するとアイコンが表示されます。	
⑩ 別体カメラ未接続アイコン		別体カメラ未接続時に表示します。	

- * 設定メニューの「アイコン表示」を「オフ」にするとアイコンを非表示にできます。【➡P50】
- * 設定メニューの「インポーズ記録」を「オン」にすると、記録映像の上に重ねて現在の日時情報、現在地の緯度経度、走行速度を録画できます。【➡P50】

設定メニューの「画面表示」で以下のように表示画面を変更できます。

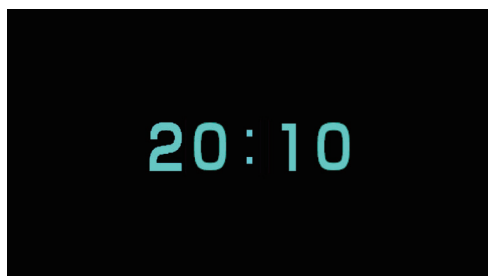
[⇒P50]

- * 画面表示が「オン 時計」、「オン 速度」、「オフ」、「オフ 画面、LED、ボイス」の場合、画面をタップするとカメラ映像を表示して操作が可能になります。
- * カメラ映像を表示していない場合も録画されます。

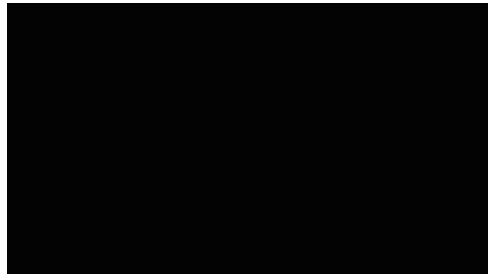


オン 速度

- * GPSが未測位の場合は「---km/h」と表示されます。



オン 時計



オフ

- * 「オフ画面、LED、ボイス」を設定すると画面・LEDが消え、ボイスがミュートになります。

録画方法

録画モードについて

本機の電源がONになると本体の動作LEDが点滅し、常時録画が開始されます。

録画モードの状態は、画面アイコンで確認できます。[➡P33]

* 録画中の音声を録音しない場合、設定メニューの「音声録音」を「オフ」にしてください。
[➡P49]

通常時録画トリガの種類

通常時録画トリガ（条件）により、自動または手動で判定し録画をおこないます。

■ 常時録画

効果音（♪ピロリロリン）とボイスアシスト（常時録画を開始します）を出力し、常時録画が開始されます。常時録画中、動作LEDは緑色点滅（1秒間点灯と1秒間消灯を繰り返す）し、1分単位で録画し続けます。

1分

1分

1分

1分

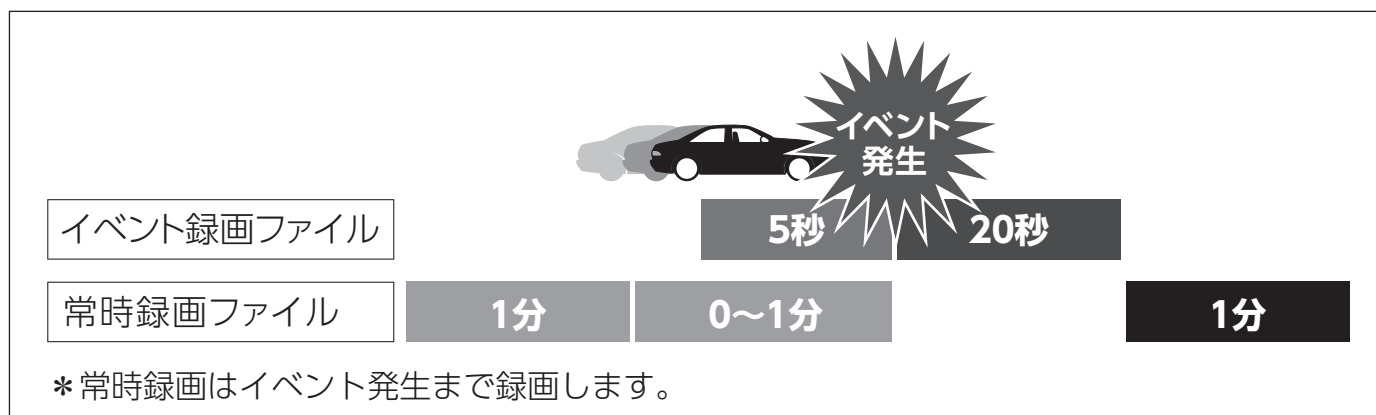
1分

継続 ...

* 1 ファイルあたりの記録時間です。

■ イベント録画

常時録画中にイベント（走行中の外部衝撃や事故）が発生した場合や手動でクイック録画を開始した場合、常時録画を中断して、効果音（♪ピロリロリン*速い）とボイスアシスト（イベント録画を開始します / クイック録画を開始します）を出力し、前後のイベント録画ファイルを生成します。イベント録画中、動作LEDが速い緑色点滅（0.5秒点灯と0.5秒消灯を繰り返す）します。録画終了後、常時録画にもどります。



* イベントとは、衝撃を検知した場合という意味で使用しています。3Gセンサーが高感度に設定されている場合、細かな衝撃も検知します。3Gセンサー感度が低感度に設定されている場合、強い衝撃のみ検知します。設定メニューの「3Gセンサー感度」で調整することができます。
【➡P49】

- * 車や運転の状態など様々な要因により、イベント録画にならない場合があります。
- * 録画ファイルがmicroSDカードの録画領域を超えた場合、古いデータから上書きされます。
- * 常時録画とイベント録画で生成されたファイルは指定のフォルダに保存されます。
- * イベント録画（手動による撮影も含む）中は、タッチパネルの操作を受け付けません。
- * 録画中の状況により、録画のビットレートは可変します。
- * 事故などが発生した場合、録画ファイルが上書きされないよう、本機からmicroSDカードを取り出して保管してください。
- * スーパーキャパシタ（蓄電能力を持つコンデンサ）により、事故の衝撃で電源コードがはずれてしまっても録画映像を正常に保存します。蓄電状況によっては、正常に保存されない場合があります。
- * 別体カメラを接続していない場合でも映像として記録されます。

microSDカードの保存先とファイル名について

録画モード	保存フォルダ名	ファイル名
常時録画	[INFINITE] └─[1] 本体カメラ └─[2] 別体カメラ	通常時 : NNF_****.avi パーキングモード : PNF_****.avi パーキングモード (モーション) : PMF_****.avi
イベント録画	[EVENT] └─[1] 本体カメラ └─[2] 別体カメラ	通常時 : NEF_****.avi パーキングモード : PEF_****.avi

* ファイル名 (****) に年月日-時分秒-インデックス(識別)_カメラ番号(1:本体カメラ/2:別体カメラ)が入ります。(例: 260921-162810-1_1は、2026年9月21日16時28分10秒、本体カメラ)

* 録画ファイルをロックした場合、ファイルは上書きされなくなります。【➡P57】

クイック録画機能（手動）

手動でイベント録画するための機能です。

録画データは、microSDカードの【EVENT】フォルダに保存されます。

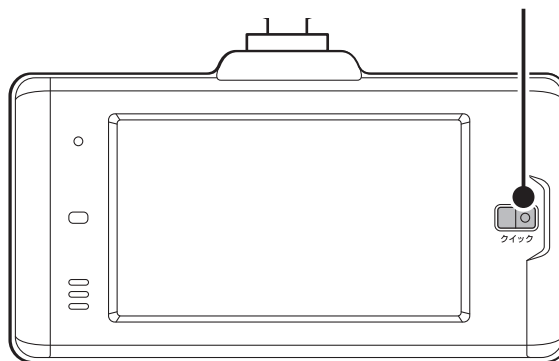
- * 設定メニューの「アイコン表示」を「オン」にしてください。【→P50】
- * V-OUT（ビデオ出力）がオン時または、画面表示がオフ時は動作しません。
- * 録画映像は、クイック録画を開始した5秒前と20秒後を含み録画します。
- * この機能は、本機がイベント録画中である場合は使用できません。
- * 画面表示が「オン 時計」、「オン 速度」、「オフ」、「オフ画面、LED、ボイス」の場合、画面をタップするとカメラ映像を表示して操作が可能になります。

1. 本機の動作中に画面左上の【●REC】をタップ、または本体のクイック録画ボタンを押す。

【●REC】



クイック録画ボタン



効果音（♪ピロリロリン*速い）とボイスアシスト（クイック録画を開始します）を出力し、クイック録画が開始されます。クイック録画中、動作LEDが速い緑色点滅（0.5秒点灯と0.5秒消灯を繰り返す）します。クイック録画終了後、常時録画モードにもどります。



パーキングモードについて

車のパワー（イグニッション）スイッチをOFFにし、アクセサリ電源がOFFになってから約6秒後に録画を開始する機能です。

* パーキングモードを使用する際は、オプションの常時電源コードが必要です。

本機に適合したオプションの常時電源コードを接続し、「設定メニュー」の「パーキングモード」を「オン」にすると、タイマー機能、電圧監視機能により、最大12時間本機に電源を供給します。録画方式は、常時、モーション、常時+イベント、モーション+イベントから選択できます。

パーキングモードが開始されると画面が消え、パーキングモード中に発生した録画により動作LEDが点滅します。[➡P46]

車のパワー（イグニッション）スイッチをONにし、アクセサリ電源がONになると、約6秒後にパーキングモードが解除され、通常時録画になります。

警告

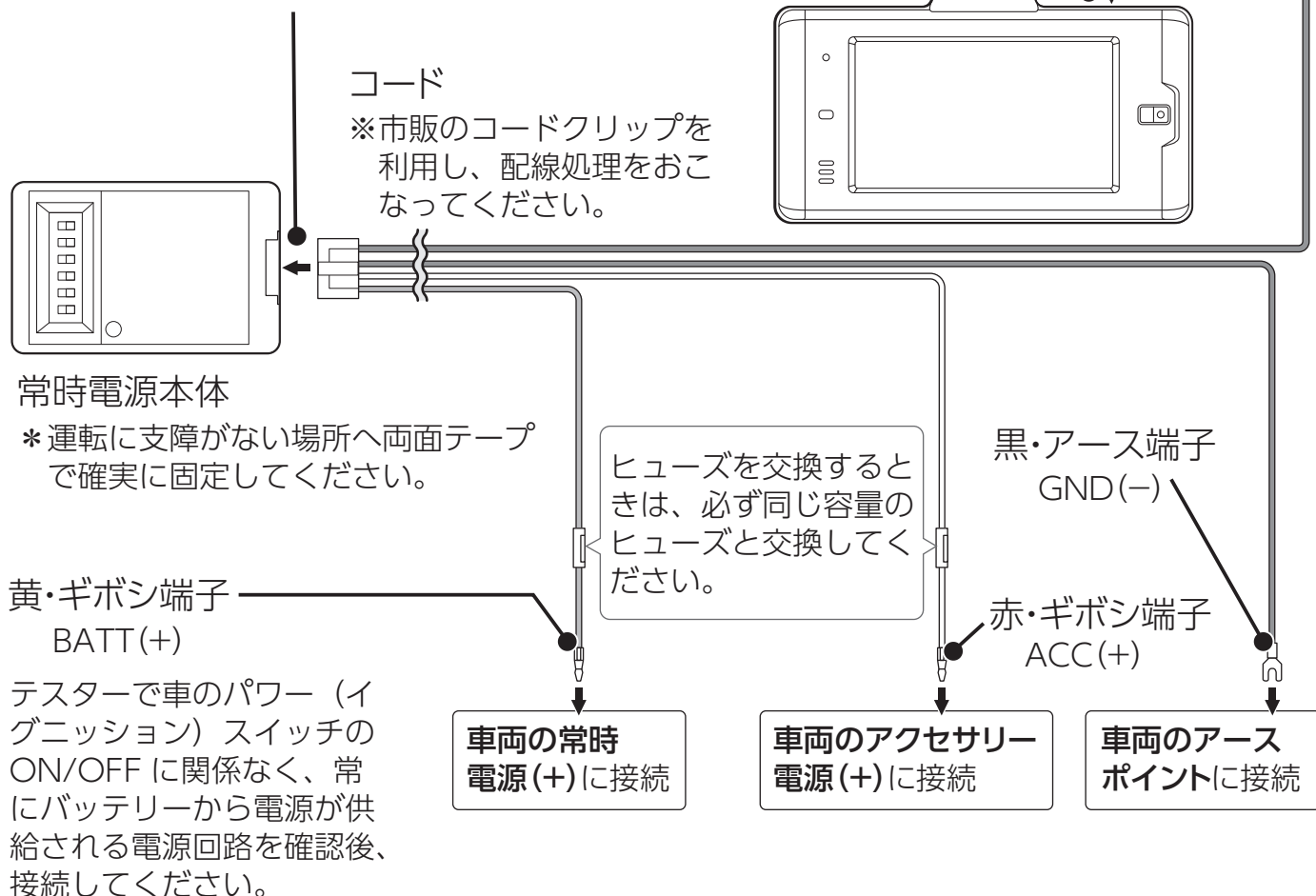
- パーキングモードを使用するには、必ずオプションの常時電源コードを使用してください。
- パーキングモードの録画は、車両バッテリーの電源を使用するため、車両バッテリーに負担がかかります。定期的に車両バッテリーの点検をおこなってください。
- 車両バッテリーの寿命を短くすることがあるため、オプションの常時電源コードの設定を**1時間、12V（24V車は24V）に設定**することを推奨します。（常時電源コードに付属の取扱説明書もあわせてご参照ください。）
- 車両バッテリーあがりに関して、一切の責任を負いかねます。
- 暗い場所などでは録画できない場合があります。
- タイマー設定時間内であっても、バッテリーの電圧によっては電圧監視機能がはたらき、録画を停止します。あらかじめ、ご了承ください。
- パーキングモードを使用しない場合は、本機のパーキングモードの設定をオフにし、常時電源コードの時間設定を0時間にしてください。[➡P42]

取り付け方法

常時電源本体のコネクターに常時電源コードのツメを押しながら差し込みます。

* コードはロックされるので、はずす際はツメを押しながら抜きます。

DC12V/24Vソケット



* オプションの常時電源コードに付属の取扱説明書をよく読み、正しく設定の上、アクセサリ電源がOFFのときに接続してください。

* 本機がオプションの常時電源コードを認識できない場合やパーキングモード中、DCコードを抜いた場合、パワー（イグニッション）スイッチをOFFにし、動作LED消灯を確認後、パワー（イグニッション）スイッチを入れなおしてください。

パーキングモードの録画仕様について

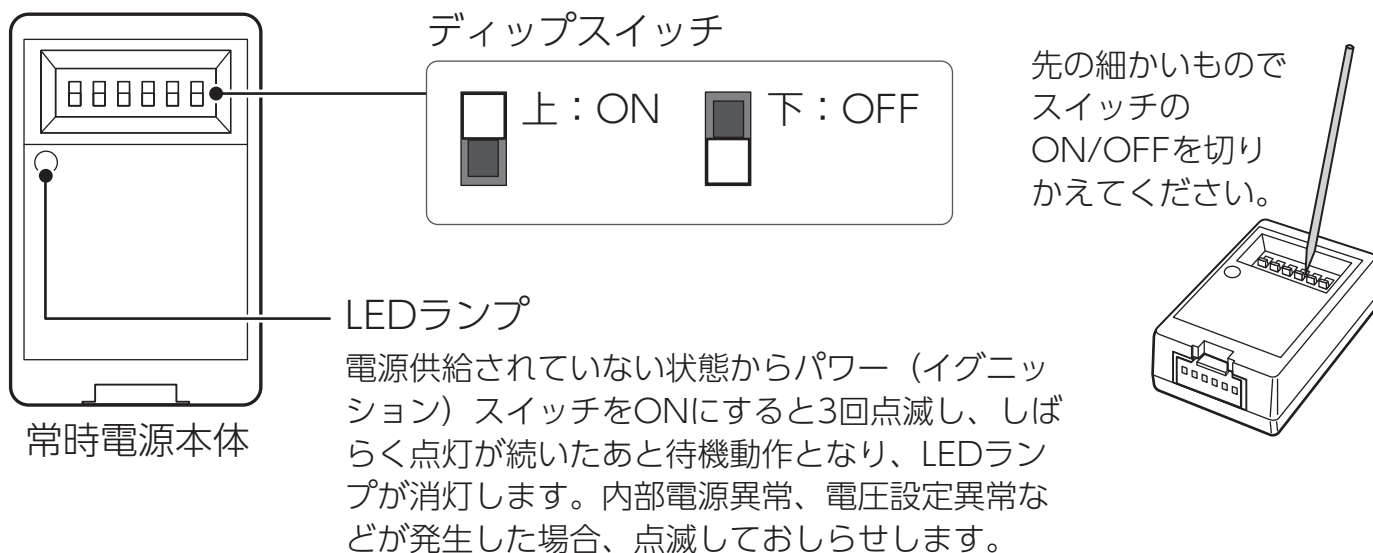
画像	D1
画質	低
明るさ	中
コントラスト	中

* パーキングモード中のバッテリー電源供給時間は、常時電源本体のディップスイッチの設定で動作します。[→P42]

* 別体カメラを認識していない場合（カメラ接続コードがはずれたなど）、本体カメラだけで録画されます。[→P33]

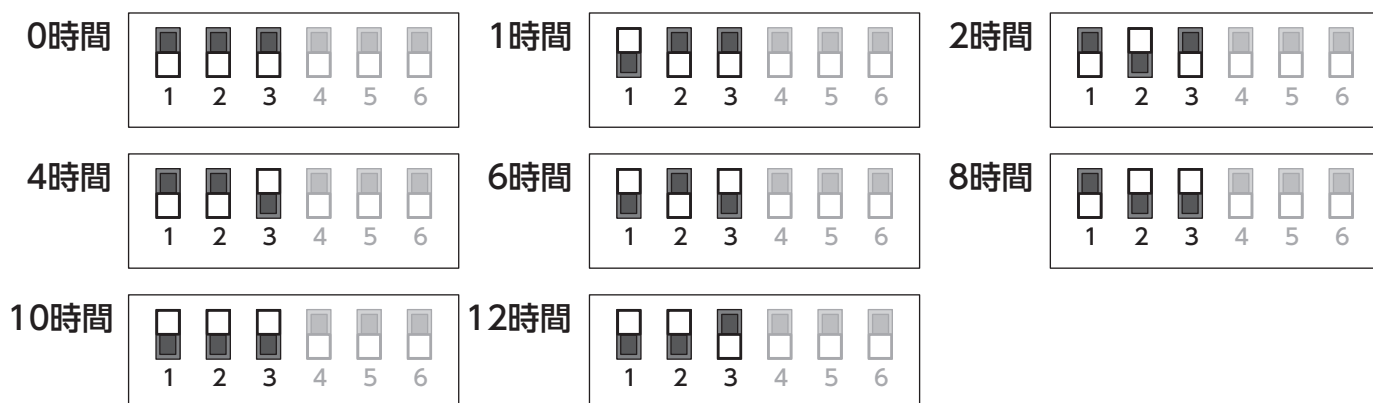
常時電源コードの設定

オプションの常時電源コードは、常時電源本体のディップスイッチにて設定します。



■ パーキングモードの時間設定

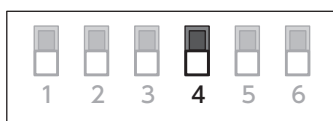
【スイッチ1～3】タイマー機能によって電源供給する時間を設定します。設定時間を超えると電源供給がOFFになります。パーキングモードを使用しないときは、電源供給する時間を「0時間」に設定してください。（推奨：1時間）



■ 12V車の電圧設定

【スイッチ4】12V車の電圧を設定します。

12V



【スイッチ5、6】電圧監視機能によって監視する電圧を設定します。設定した電圧を下回ると電源供給がOFFになります。(推奨:12V)

12V



11.8V



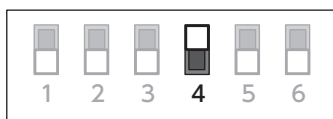
11.5V



■ 24V車の電圧設定

【スイッチ4】24V車の電圧を設定します。

24V



【スイッチ5、6】電圧監視機能によって監視する電圧を設定します。設定した電圧を下回ると電源供給がOFFになります。(推奨:24V)

24V



23.7V



23.5V



パーキングモードの設定

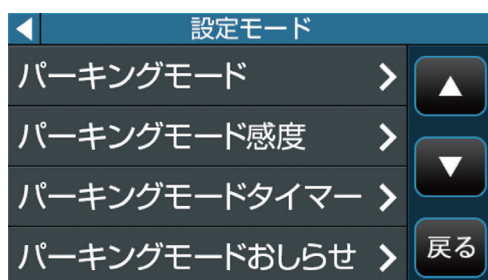
* オプションの常時電源コード接続時、設定できます。



1. 画面中央下の【MENUボタン】をタップして、モード切替画面に切りかえる。



2. 【設定モード】を選択（タップ）する。



3. 画面右の【▲▼】をタップして、【パーキングモード】を選択（タップ）する。



4. パーキングモードの設定を選択（タップ）する。

設定を終了して録画モードにもどる場合は、画面右の【戻る】をタップしてモード切替画面までもどり、【録画モード】をタップします。

■ パーキングモードの設定項目

オン 常時	常時録画を記録し続けます。(古いファイルは消去されます。)
オン モーション	本機のカメラがモーション（動作）を検知した場合、常時録画を1ファイル記録します。
オン 常時+イベント	常時録画とイベント録画をおこないます。イベントが発生した場合、1ファイルに25秒（前5秒、後20秒）のイベント録画を記録します。
オン モーション+イベント	本機のカメラがモーション（動作）を検知した場合、常時録画を1ファイル記録し、イベントが発生した場合、1ファイルに25秒（前5秒、後20秒）のイベント録画を記録します。

* パーキングモードでは、常時録画画質の設定によって1ファイルの録画時間が変動します。

パーキングモード録画のオン/オフ切りかえ

録画の必要がない自宅ではオフ、外出先ではオンというように「パーキングモード」のアイコンのタップで簡単にパーキングモード録画のオン、オフが切りかえられます。

* 「パーキングモード」のアイコンでオフにしても、パーキングモードの録画領域は変わりません。



「パーキングモード」のアイコン



パーキングモード切りかえを音声でお知らせします。
「パーキングモード オン」「パーキングモード オフ」

■ パーキングモードのお知らせ設定項目

設定メニューの「パーキングモードお知らせ」を「オン」にすると、電源ON時に現在のパーキングモードの状態を音声でお知らせします。

* パーキングモードタイマー設定が0時間のときもパーキングモード オンでお知らせします。

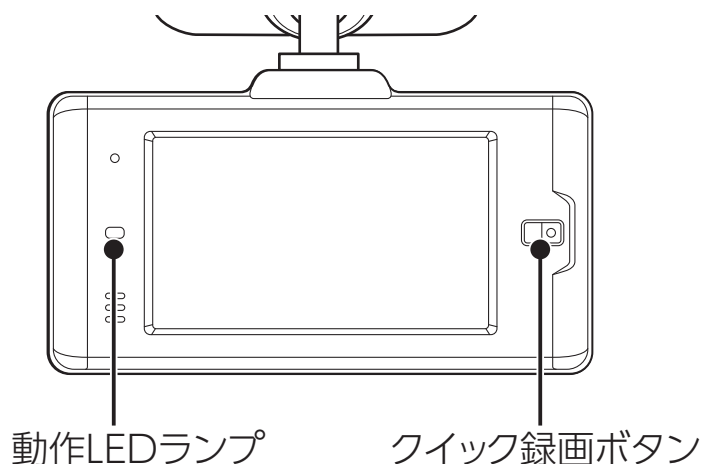
オン	起動時にパーキングモードがオンになっていることをお知らせします。
オフ	起動時にパーキングモードお知らせをおこないません。

パーキングモード録画の動作

車のパワー（イグニッション）スイッチをOFFにし、アクセサリ電源がOFFになってから6秒後、パーキングモードが作動し、画面が消え、録画モードの状態を動作LEDで表示します。

* パーキングモードの動作中、V-OUT（ビデオ出力）はオフになります。

パーキングモードの動作中、クイック録画ボタンを押すと動作LEDが速い緑色点滅（0.5秒点灯と0.5秒消灯を繰り返す）し、クイック録画をおこないます。録画後、常時録画にもどります。



録画モード	動作 LED の状態
常時録画	遅い緑色点滅（2 秒点灯と2秒消灯を繰り返す）
イベント録画	速い緑色点滅（0.5 秒点灯と 0.5 秒消灯を繰り返す）
モーション録画	検知:遅い緑色点滅（2 秒点灯と 2 秒消灯を繰り返す） 待機中:遅い 2 回緑色点滅（2 秒間に点灯と消灯を2 回おこなった後 2 秒消灯を繰り返す）

パワー（イグニッション）スイッチをオンにし、本機が起動した際に「録画ファイルがあります。」と音声出力し、「パーキングモード」のアイコンが変化します。

次回起動時、アイコンは元にもどります。【➡P33】

「パーキングモード」の
アイコン



各種設定の変更

設定の変更方法

本機の設定を変更する場合は、以下の手順でおこないます。
専用ビューアソフトで設定することも可能です。詳しくは、ダウンロードした専用ビューアソフトの説明書をご覧ください。

* 設定中は、録画はできません。

* 設定メニュー画面にて1分以上操作がない場合は、自動的に録画モードに切りかわります。

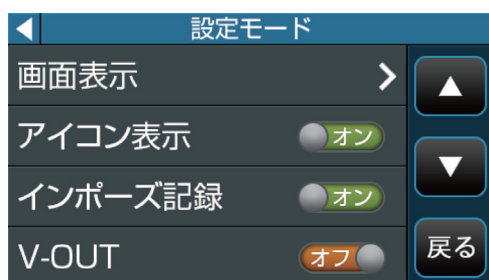


1. 画面中央下の【MENUボタン】をタップして、モード切替画面に切りかえる。

* アイコン表示オフ、V-OUT時は、画面をタップするとモード切替画面に切りかえます。



2. 【設定モード】を選択（タップ）する。



3. 画面右の【▲▼】をタップして、変更する設定メニュー（例：アイコン表示）を選ぶ。



4. 変更したい設定項目を選択（タップ）し、設定内容を切りかえる。

設定項目が多い場合は、画面右の【▲▼】をタップし、スクロールさせます。

5. 引き続き他の設定を変更する場合は、画面右の【戻る】をタップして設定モード画面までもどり、同様の手順でおこなう。

設定を終了して録画モードにもどる場合は、画面右の【戻る】をタップしてモード切替画面までもどり、【録画モード】をタップします。

設定一覧

- *1：別体カメラ接続時、設定できます。 *2：常時電源コード接続時、設定できます。
 *3：スモークガラス（リヤ）の場合、「夜間補正」または「HDR 夜間補正」に設定することをおすすめします。

設定メニュー	設定項目	初期設定
音量調整	本機の音量を調整できます。数値を大きく設定すると音量が大きくなり、0は無音にします。 3/2/1/0	2
通常時画像設定	録画時の画像、画質を設定します。お好みの録画の記録時間、画質を設定できます。 高画質：録画画質を高画質（FHD）に適した設定にします。 標準：録画画質を標準的（HD）な設定にします。 長時間：録画画質を長時間録画（D1）に適した設定にします。 カスタム：録画画質などの設定をお好みで設定できます。 * 本体カメラ、別体カメラは同じ設定となります。	高画質
本体カメラ設定	本体カメラ、別体カメラの画像補正を設定できます。 ノーマル：HDR、夜間補正による画像補正をおこないません。 HDR：HDRによる画像補正をおこない、急激な明るさの変化が発生しても白トビや黒ツブレを低減します。夜間補正による画像補正はおこないません。	夜間補正
別体カメラ設定 *1 *3	夜間補正：夜間・トンネルなど光量の少ない場所でも鮮明な映像を記録できます。HDRによる画像補正はおこないません。 HDR + 夜間補正：HDRと夜間補正による画像補正をおこないます。	夜間補正

はじめに	取り付けと準備	基本操作	各種設定	困ったときは	その他
------	---------	------	------	--------	-----

- *1：別体カメラ接続時、設定できます。 *2：常時電源コード接続時、設定できます。
 *3：スモークガラス（リヤ）の場合、「夜間補正」または「HDR 夜間補正」に設定することをおすすめします。

設定メニュー	設定項目	初期設定
別体カメラ 録画、表示設定 *1	別体カメラの画像表示を設定できます。 上下反転：上下を反転して表示するか設定します。 正像鏡像：正像で表示するか鏡像で表示するか設定します。	[→ P53]
カメラ表示	本機の画面に表示するカメラの映像、パターンを設定できます。 本体カメラ：本体カメラを表示します。 別体カメラ：別体カメラを表示します。 本体＋別体カメラ：本体カメラ、別体カメラを2分割で表示します。	本体＋ 別体カメラ
音声録音	本機のマイクで音声を録音し、録画映像に記録するか設定できます。 オン：本体のマイクで音声を録音します。 オフ：本体のマイクで音声を録音しません。	オン
3Gセンサー 感度	数値を大きく設定すると3Gセンサーが高感度になり、通常時の衝撃を感知しやすくなります。 カスタムは、3Gセンサーをお好みで設定できます。 10/9/8/7/6/5/4/3/2/1/ カスタム	6
通常時録画 トリガ	録画方法を設定できます。 常時：常時のみで録画をおこないます（1分単位）。 常時＋イベント：常時＋イベントで録画をおこないます。	常時＋ イベント
画面明るさ	画面の明るさを設定できます。数値を大きくすると明るくなります。 4/3/2/1	3

はじめに	取り付けと準備	基本操作	各種設定	困ったときは	その他
------	---------	------	------	--------	-----

- *1：別体カメラ接続時、設定できます。 *2：常時電源コード接続時、設定できます。
 *3：スモークガラス（リヤ）の場合、「夜間補正」または「HDR 夜間補正」に設定することをおすすめします。

設定メニュー	設定項目	初期設定
ディマー	時間で画面の明るさを自動調整するか設定できます。「オン」にすると、4月～10月は18:00～5:00、11月～3月は16:00～7:00に画面を自動で暗くします。 オン：ディマー機能を設定します。 オフ：ディマー機能を設定しません。	オン
ボイス	本機の動作をボイスアシスト（音声案内）するか設定できます。 オン：ボイスアシストをおこないます。 オフ：ボイスアシストをおこないません。	オン
画面表示	本機の画面に表示する内容を設定できます。 オン ：カメラ映像を表示します。 オン 時計 ：時計を表示します。 オン 速度 ：速度を表示します。 オフ ：画面表示しません。 * エラー、災害・危機管理通報は初回のみ表示。 オフ 画面、LED、ボイス：画面、LED、ボイスをオフにします。 * エラー表示は実行。	オン
アイコン表示	本機の画面にアイコンを表示するか設定できます。 オン：アイコンを表示します。 オフ：アイコンを非表示にします。	オン
インポーズ記録	録画した映像に各種情報を重ねて（インポーズ）記録するか設定できます。 オン：映像に日時、現在地の緯度経度、走行速度をインポーズします。 オフ：映像に日時、現在地の緯度経度、走行速度をインポーズしません。	オン

はじめに	取り付けと準備	基本操作	各種設定	困ったときは	その他
------	---------	------	------	--------	-----

- *1：別体カメラ接続時、設定できます。 *2：常時電源コード接続時、設定できます。
 *3：スモークガラス（リヤ）の場合、「夜間補正」または「HDR 夜間補正」に設定することをおすすめします。

設定メニュー	設定項目	初期設定
V-OUT	本機の映像を外部モニターまたは弊社セーフティレーダーに出力するか設定できます。 オン：録画中の映像を出力します。 オフ：録画中の映像を出力しません。	オフ
位置情報取得	本機の GPS 機能で位置情報を取得するか設定できます。 オン：位置情報を取得し記録、表示します。 オフ：位置情報を取得しません。	オン
GPSおしらせ機能	GPS おしらせ機能を設定できます。 取締機：オービスなど速度取締機の設置ポイントをおしらせします。 高速道逆走注意エリア：高速道路上の逆走が発生しやすいエリアをおしらせします。 ゾーン 30：制限速度 30 キロ区域（ゾーン 30）をおしらせします。 事故多発エリア / 路線：事故発生率の高いエリア / 路線です。 小学校 / 中学校：小学校 / 中学校付近でおしらせします。	小学校、中学校以外オン
	データ情報：GPS データの版数を確認します。	—
安全運転支援機能(本体カメラ)	安全運転支援機能（本体カメラ）の設定画面に移動します。	[⇒ P59]
安全運転支援機能(別体カメラ) *1	安全運転支援機能（別体カメラ）の設定画面に移動します。	[⇒ P62]

はじめに	取り付けと準備	基本操作	各種設定	困ったときは	その他
------	---------	------	------	--------	-----

- *1：別体カメラ接続時、設定できます。 *2：常時電源コード接続時、設定できます。
 *3：スモークガラス（リヤ）の場合、「夜間補正」または「HDR 夜間補正」に設定することをおすすめします。

設定メニュー	設定項目	初期設定
パーキングモード*2	パーキングモードを設定できます。 オン 常時 オン モーション オン 常時+イベント オン モーション+イベント オフ	オン 常時 +イベント
パーキングモード感度*2	数値を大きく設定すると 3G センサーが高感度になり、パーキングモード時の衝撃を感知しやすくなります。 10/9/8/7/6/5/4/3/2/1	6
パーキングモードタイマー*2	パーキングモードのタイマーがオフになる時間を設定します。 0 時間 / 1 時間 / 2 時間 / 4 時間 / 6 時間 / 8 時間 / 10 時間 / 12 時間 * 常時電源本体（ディップスイッチ）で設定した時間以下にしてください。	12 時間
パーキングモードお知らせ*2	起動時に現在のパーキングモードのオン / オフをお知らせするか設定できます。 オン：パーキングモードがオンになっていることをお知らせします。 オフ：パーキングモードお知らせをおこないません。	オフ
取扱説明書QRコード表示	取扱説明書の QR コードを表示します。	—
情報	本体ソフトウェアと技術適合マークを表示します。	—
フォーマット	SD カードのフォーマットをおこないます。	—
キャリブレーション設定	タッチパネルを補正します。	—

はじめに	取り付けと準備	基本操作	各種設定	困ったときは	その他
------	---------	------	------	--------	-----

通常時画像設定「カスタム」時、設定内容一覧

カスタム	設定項目	初期設定
画像	FHD : 1920 × 1080 ピクセル HD : 1280 × 720 ピクセル D1 : 720 × 480 ピクセル	D1
画質	高 標準 低	低
明るさ	明 中 暗	中
コントラスト	高 中 低	中

別体カメラ録画、表示設定内容一覧

カスタム	設定項目	初期設定
上下反転	マウントベース上 マウントベース下 * 本機では「マウントベース下」は使用しません。	マウントベース上
正像鏡像	正像 鏡像	正像

3Gセンサー感度「カスタム」時、設定内容一覧

カスタム	設定項目	初期設定
前後	数値を大きく設定すると 3G センサーが高感度になり、通常時の衝撃を感知しやすくなります。 オフは衝撃を検知しません。 10/9/8/7/6/5/4/3/2/1/ オフ	6
左右		6
上下		6

通常時画像設定

通常時画像設定は、録画画像の画質や画像サイズなど細かな設定を各モードにあわせた最適な内容に設定してあります。録画したい画像、録画時間などお好みにあわせて変更することができます。

* 設定中は、録画できません。

⚠ 注意

通常時画像設定を変更すると microSD カードメンテナンスフリー機能により、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、録画ファイルなどがすべて消去されます。

あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで録画ファイルなどのバックアップをおこなうことをおすすめします。



1. 画面中央下の【MENUボタン】をタップして、モード切替画面に切りかえる。

2. 【設定モード】を選択（タップ）する。



3. 画面右の【▲▼】をタップして、【通常時画像設定】を選択（タップ）する。
「通常時画像設定」画面に切りかわります。

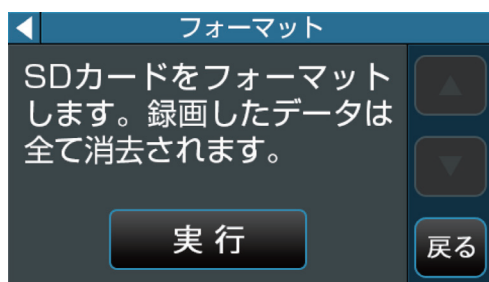


4. 設定したい画像モードを選択（タップ）する。

5. 【戻る】をタップして設定を確認する。

ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生します。

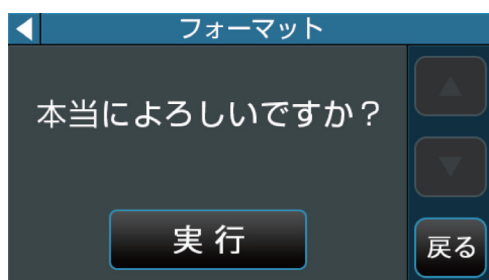
* カスタムは画像または画質を変更するとフォーマットが発生します。



6. 【実行】をタップする。

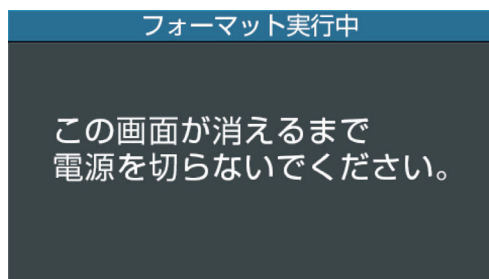
キャンセルする場合は、画面右の【戻る】をタップします。

* 録画データなどが消去されます。事前にバックアップすることをおすすめします。



7. 【実行】をタップする。

キャンセルする場合は、画面右の【戻る】をタップします。



本機の画面に「フォーマット実行中」と表示されます。

フォーマット完了後、自動的に再起動をおこない、録画モードが開始されます。

その他の機能

再生モード

録画した映像を本機の画面で再生することができます。

- * 再生モード中は、録画できません。
- * 外部モニターなどで再生することはできません。



「映像再生」のアイコン

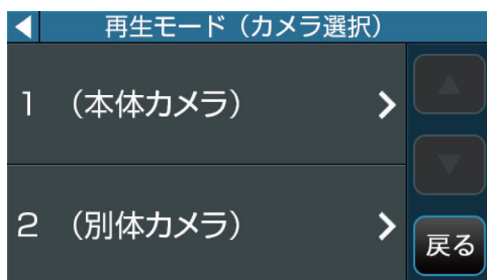
1. 画面左下の「映像再生」のアイコンをタップする。

画面の中央下のMENUボタンをタップして、モード切替画面から再生モードにすることもできます。



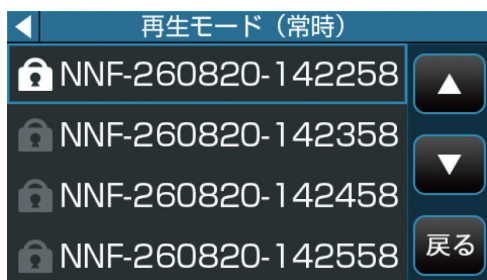
2. 【常時録画】または【イベント録画】を選択（タップ）する。

「再生モード（カメラ選択）」画面に切りかわります。



3. 【1（本体カメラ）】または【2（別体カメラ）】を選択（タップ）する。

「再生モード（常時）」画面に切りかわります。



4. ファイルを選択（タップ）する。

再生ファイルが多い場合は、画面右の【▲▼】をタップし、スクロールさせます。

* 再生ファイル名について 【→P38】

* ファイルは、録画された時間の順に表示されます。



5. 録画映像が再生される。

画面をタップ

一つ前の画面にもどる

画面を
ロングタップ本体カメラと別体カメラの
映像切り換え

録画ファイルロック機能



保護したい録画ファイルの名前をロングタップすると、ロック (保護)、解除を切りかえできます。(本体カメラ、別体カメラは連動します)



：ロックあり



：ロックなし

* SDカード内にロックしたファイルがある場合、フォーマット時に確認画面が表示されます。[→P77]

安全運転支援機能（本体カメラ）

本体カメラで前方の安全運転支援機能を動作します。

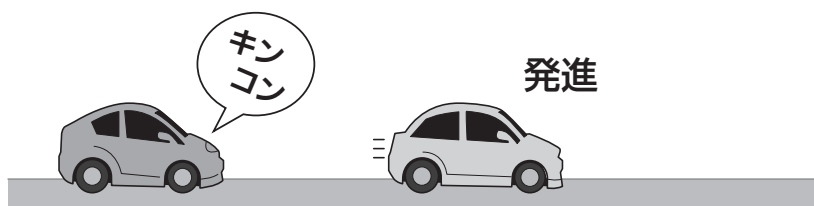
* 「キャリブレーション（本体カメラ）」にて、設置する車にあわせて調整してください。

[→P60]

- * 夜間や悪天候時、また昼間でも路面や走行状況によって機能が動作しない、または頻繁に警告する場合があります。
- * 取り付けはできるだけ車両の左右の中央部に取り付けてください。中央部からはずれますと判定誤差が大きくなり、警告しない、または頻繁に警告する場合があります。
- * 安全運転支援機能の動作は目安です。実際の道路状況にしたがって走行してください。
- * 安全運転支援機能による事故に関し弊社は一切の責任を負いかねます。
- * 横切る車、ヘッドランプなどのON/OFFにより警告する場合があります。

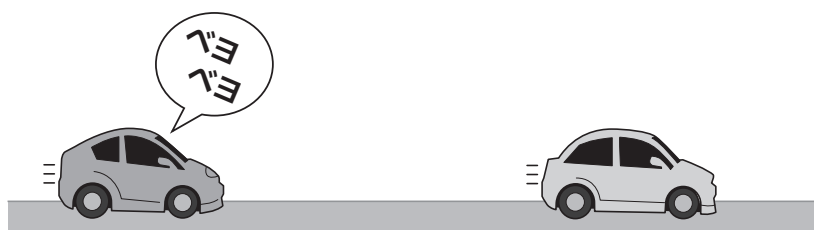
前車発車警告

停車時、前車が出発したことを警告します。



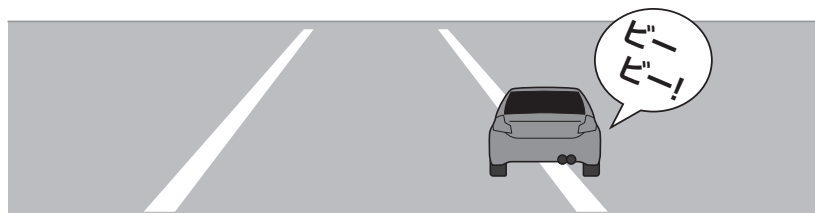
車間距離保持警告

設定した速度以上で走行時、前車との適正距離を保持するよう警告します。



車線逸脱警告

設定した速度以上で走行時、車線を逸脱すると警告します。



安全運転支援機能を使用する前に、キャリブレーションの設定をおこなう必要があります。[➡P60]

安全運転支援機能（本体カメラ）の設定内容一覧

設定メニュー	設定項目	初期設定
前車発車警告	オン / オフ	オフ
車間距離保持警告	40 キロ / 50 キロ / 60 キロ / 70 キロ / 80 キロ / 90 キロ / 100 キロ / オフ 車間距離保持警告が動作する走行速度を設定します。	オフ
車線逸脱警告	40 キロ / 50 キロ / 60 キロ / 70 キロ / 80 キロ / 90 キロ / 100 キロ / オフ 車線逸脱警告が動作する走行速度を設定します。	オフ
キャリブレーション	画面で調整します。[➡ P60]	—
警告音	オン / オフ	オン

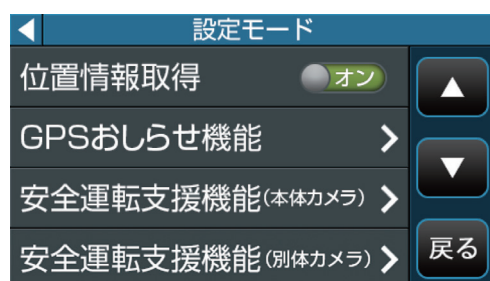
キャリブレーション（本体カメラ）

安全運転支援機能を使用するために、設置する車にあわせて本体カメラの調整をおこないます。



1. 画面中央下の【MENUボタン】をタップして、モード切替画面に切りかえる。

2. 【設定モード】を選択（タップ）する。



3. 画面右の【▲▼】をタップして、【安全運転支援機能（本体カメラ）】を選択（タップ）する。



4. 画面右の【▲▼】をタップして、【キャリブレーション】を選択（タップ）する。
「キャリブレーション」画面に切りかわります。

車種を設定する

1. 「キャリブレーション」画面で【車種】を選択（タップ）する。

2. 一覧から設置する車に近い車種を選択（タップ）する。

- ・乗用車
- ・SUV
- ・大型車

3. 【戻る】をタップする。

地平線（前方）を調整する

1. 「キャリブレーション」画面で【地平線】を選択（タップ）する。
2. 画面を見て赤線が道路の先端にくるように画面右の【▲▼】をタップして調整する。



3. 【戻る】をタップする。

ボンネットを調整する

1. 「キャリブレーション」画面で【ボンネット】を選択（タップ）する。
2. 画面を見て黄線の高さがボンネットの高さと同じになるように画面右の【▲▼】をタップして調整する。

* トラックなどボンネットが見えない車両の場合、線を一番下に設定してください。



3. 【戻る】をタップする。

安全運転支援機能（別体カメラ）

別体カメラで後方の安全運転支援機能を動作して煽り運転を防止します。

* 「キャリブレーション（別体カメラ）」にて、設置する車にあわせて調整してください。

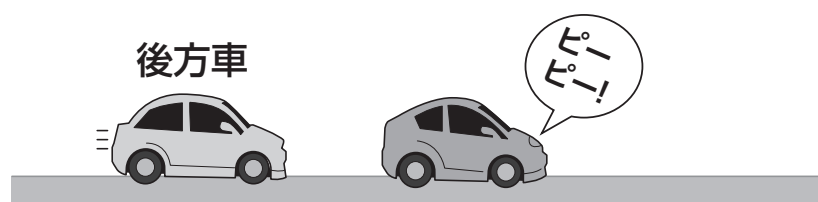
【⇒P63】

- * 夜間や悪天候時、また昼間でも路面や走行状況によって機能が動作しない、または頻繁に警告する場合があります。
- * リヤガラスにスモークフィルムを貼っている場合、画像認識しにくいいため機能が動作しない場合があります。
- * 取り付けはできるだけ車両の左右の中央部に取り付けてください。中央部からはずれますと判定誤差が大きくなり、警告しない、または頻繁に警告する場合があります。
- * 安全運転支援機能による事故に関し弊社は一切の責任を負いかねます。
- * 走行状況により後方からの接近の判断ができない場合があります。特に夜間、トンネル内などの暗い場所では判定率が下がるため誤判断（誤認）する場合があります。

後車接近警告

後車が接近すると、警告音やイベント録画をおこない、ドライバーに注意を促します。

* 「安全運転支援機能（別体カメラ）」の「警告音」を「オン+イベント録画」に設定すると、後方車が接近（煽り運転）時、イベント録画を開始します。



安全運転支援機能（別体カメラ）の設定項目

設定メニュー	設定項目	初期設定
後車接近警告	40 キロ / 50 キロ / 60 キロ / 70 キロ / 80 キロ / 90 キロ / 100 キロ / オフ 後車接近警告が動作する走行速度を設定します。	オフ
キャリブレーション	画面で調整します。【⇒ P63】	—
判定距離	5m/10m	10m
警告音	オン / オフ / オン+イベント録画	オン

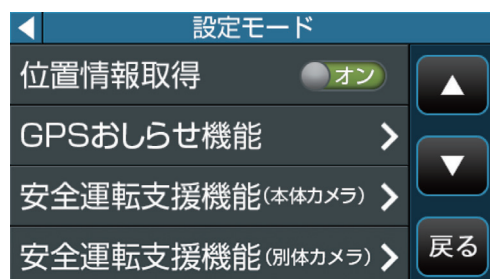
キャリブレーション（別体カメラ）

安全運転支援機能を使用するために、設置する車にあわせて別体カメラの調整をおこないます。



1. 画面中央下の【MENUボタン】をタップして、モード切替画面に切りかえる。

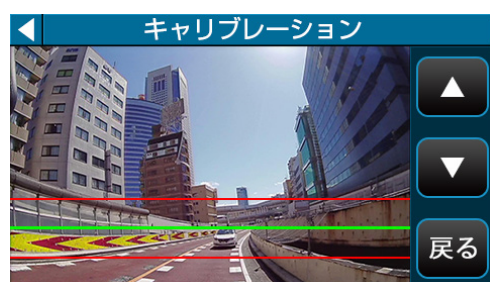
2. 【設定モード】を選択（タップ）する。



3. 画面右の【▲▼】をタップして、【安全運転支援機能（別体カメラ）】を選択（タップ）する。



4. 画面右の【▲▼】をタップして、【キャリブレーション】を選択（タップ）する。



5. 画面を見て緑線が道路の先端にくるように画面右の【▲▼】をタップして、地平線を調整する。（上下の赤線2本は動きません。）

6. 【戻る】をタップする。

GPSおしらせ機能

内蔵のGPSデータにより安全運転に役立つGPS警告をおこないます。

MyCellstarで最新のGPSデータに更新できます。

* 設定メニューの「GPSおしらせ機能（個別設定）」を「オン」にしてください。

* GPSの測位状態によっては、GPSおしらせ機能が動作しない場合があります。



GPS おしらせ画像と
音声で警告します。

GPS おしらせ画像	おしらせの内容
	取締機 オービスなど速度取締機の設置ポイントを 500m 手前でおしらせします。 * 初期設定はオン
	トンネル内速度取締機 トンネル内の速度取締機の設置ポイントを 500m 手前でおしらせします。 * 取締機の設定となります。個別の設定はできません。
	トンネル出口速度取締機 トンネル出口の速度取締機の設置ポイントを 500m 手前でおしらせします。 * 取締機の設定となります。個別の設定はできません。

GPS お知らせ画像

お知らせの内容

信号無視監視機**信号無視監視機**

信号無視監視機の設置ポイントを 500m 手前でお知らせします。

* 取締機の設定となります。個別の設定はできません。

高速道逆走注意エリア**高速道逆走注意エリア**

高速道路上の逆走が発生しやすいエリアをお知らせします。

- * 初期設定はオン
- * 同種のポイントが連続している場合、お知らせをスキップします。
- * ポイントによりお知らせする場所が変わります。

ゾーン 30**ゾーン 30**

生活道路における歩行者などの安全な通行を確保することを目的として、制限速度 30 キロに設定された区域(ゾーン 30) をお知らせします。

- * 走行速度80km/h以下のときに警告します。
- * 初期設定はオン
- * 同種のポイントが連続している場合、お知らせをスキップします。
- * ポイントによりお知らせする場所が変わります。

事故多発エリア**事故多発エリア**

事故発生率の高いエリアを 500m 手前でお知らせします。

- * 走行速度80km/h以下のときに一般道に対し、80km/h以上のときに高速道に対し警告します。
- * 初期設定はオン
- * 同種のポイントが連続している場合、お知らせをスキップします。

GPS お知らせ画像

お知らせの内容

事故多発路線**事故多発路線**

事故発生率の高い路線を 500m 手前でお知らせします。

- * 走行速度80km/h以下のときに一般道に対し、80km/h以上のときに高速道に対し警告します。
- * 初期設定はオン
- * 同種のポイントが連続している場合、お知らせをスキップします。

小学校**小学校**

小学校付近でお知らせします。

- * 走行速度80km/h以下のときに警告します。
- * 初期設定はオフ
- * 同種のポイントが連続している場合、お知らせをスキップします。

中学校**中学校**

中学校付近でお知らせします。

- * 走行速度80km/h以下のときに警告します。
- * 初期設定はオフ
- * 同種のポイントが連続している場合、お知らせをスキップします。

MyCellstarについて

「MyCellstar」は、GPSデータのダウンロードをおこない、最新のGPSデータに更新ができます。詳しくは「MyCellstar」のサイトをご覧ください。

<http://www.mycellstar.jp>

■用意するもの

- ・ 付属のmicroSDカード
- * GPSデータ更新中にmicroSDカード内の録画データなどが消去されるおそれがあります。事前にパソコンなどへ録画データをバックアップしてください。

■パソコンの推奨環境

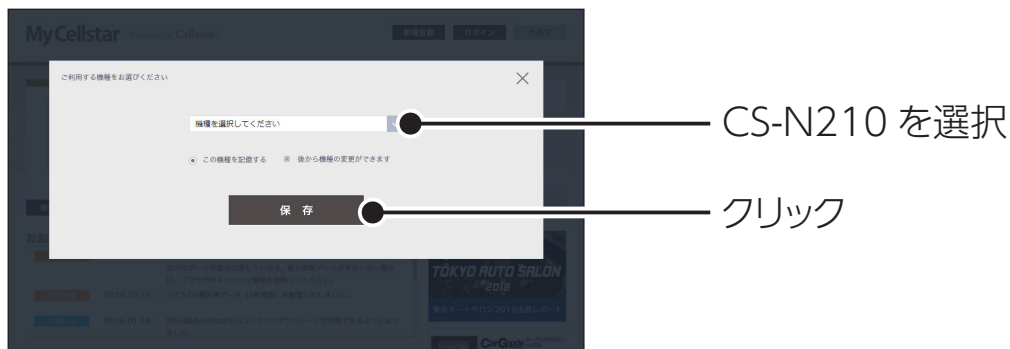
- ・ OS : Windows (10/11) / Macintosh (MacOS X 10.5以上)
- ・ CPU : Intel Core2 Duo相当性能
- ・ メモリ : 1GB以上
- ・ グラフィックメモリ : 256MB以上

パソコンでGPSデータをダウンロード

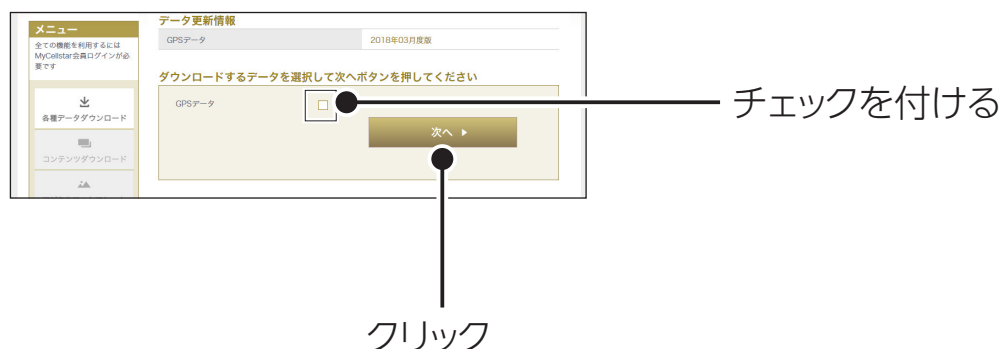
1. ブラウザでMyCellstar (<http://www.mycellstar.jp>) を開く。



2. リストからCS-N210を選択し、保存をクリックする。



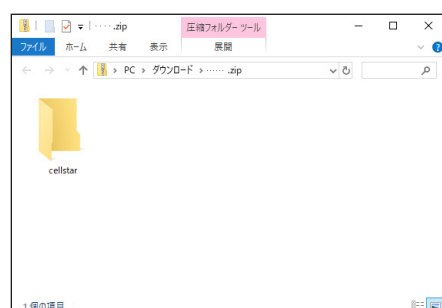
3. GPSデータにチェックを付け、【次へ】 ボタンをクリックする。



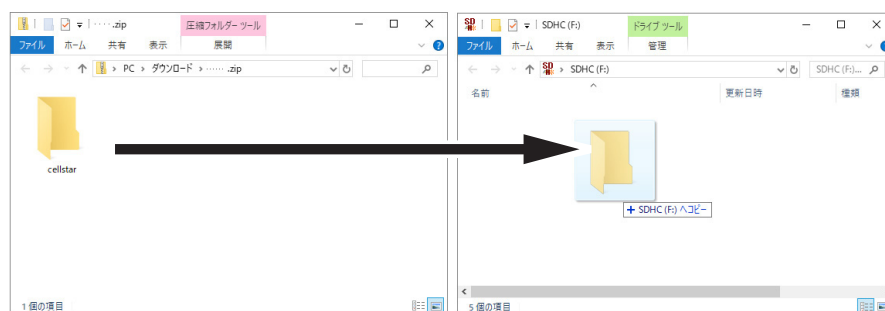
4. 【ダウンロード】 ボタンをクリックする。



5. ダウンロードされたGPSデータ（ZIPデータ）を開く。



6. GPSデータ内の「cellstar」フォルダごと付属のmicroSDカードにコピーする。 最新のGPSデータが入ったmicroSDカードができあがります。



GPS データ内

microSD カードのルートディレクトリ
(一番上の階層)

スマートフォンでGPSデータをダウンロード

■スマートフォンの推奨環境

- OS：Android5.0以降
- * iOS、Android4.4には対応していません。
- * Android5.0以降、SDカードの書き込み権限の設定が必要です。
- * Android12以降は、スマートフォンの規格に合った市販のSDカードリーダーを使用してデータを転送してください。
- * スマートフォンは、メモリー状況、使用環境などさまざまな要因によりアプリが正常に動作しない場合があります。

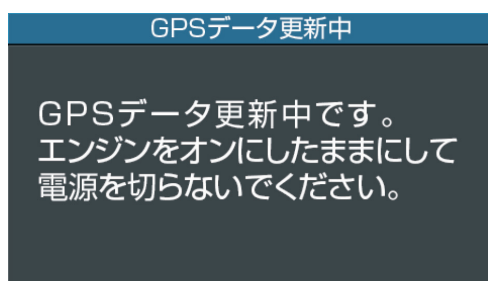
1. Playストアから「MyCellstar+Sync」をダウンロードしてインストールする。

- * スマートフォンアプリの使い方、機能の説明はアプリ内のヘルプを参照してください。
 - * スマートフォンで更新する場合、本機でフォーマットした市販のmicroSDカードを使用してください。
-

GPSデータ更新

「MyCellstar」からダウンロードした最新のGPSデータが入った付属のmicroSDカードを用意します。【➡P67】

1. 本体からDCコードをはずし、電源を切る。
2. 最新のGPSデータが入った付属のmicroSDカードをmicroSDカードスロットに挿入する。【➡P26】
3. 本体にDCコードを接続して電源を入れる。
自動的にGPSデータが更新され、本機が再起動します。



GPSデータの版数確認

1. 画面中央下の【MENUボタン】をタップして、モード切替画面に切りかえる。
2. 【設定モード】を選択（タップ）する。
3. 画面右の【▲▼】をタップして、【GPSお知らせ機能】を選択（タップ）する。
4. 画面右の【▲▼】をタップして、【データ情報】を選択（タップ）する。
内蔵のGPSデータの版数が表示されます。



GPSの測位について

GPSを利用した機能を使用するために、GPSの測位確定が必要となります。本機の電源が入ると、自動的にGPS測位が始まります。GPSを測位すると測位アナウンスをおこない、GPSアイコンが表示されます。[➡P33]

✓ CHECK

お買い求めいただいて、初めてお使いになる場合

- GPS測位が確定するまでに時間がかかる場合があります（15分程度）これは製品不良や故障などではありません。GPS測位に20分以上かかる場合は、電源を入れなおしてください。
- トンネル内、高架下、ビルの谷間、森林の中や高圧電線、高出力無線の近くなどではGPSを測位しにくくなる場合があります。
- GPS機能を使用するには、GPS測位中に限られます。

* GPSの測位状態によっては、GPSお知らせ機能が動作しない場合があります。

超速GPSについて

自車位置を素早く約10秒でGPS測位するので、ドライブをスムーズにスタートします。

✓ CHECK

- GPS衛星を受信しにくい条件の場合、時間がかかる場合があります。
- 前回のGPS受信から72時間を経過すると超速GPSは機能しません。その他、様々な条件により機能しない場合があります。

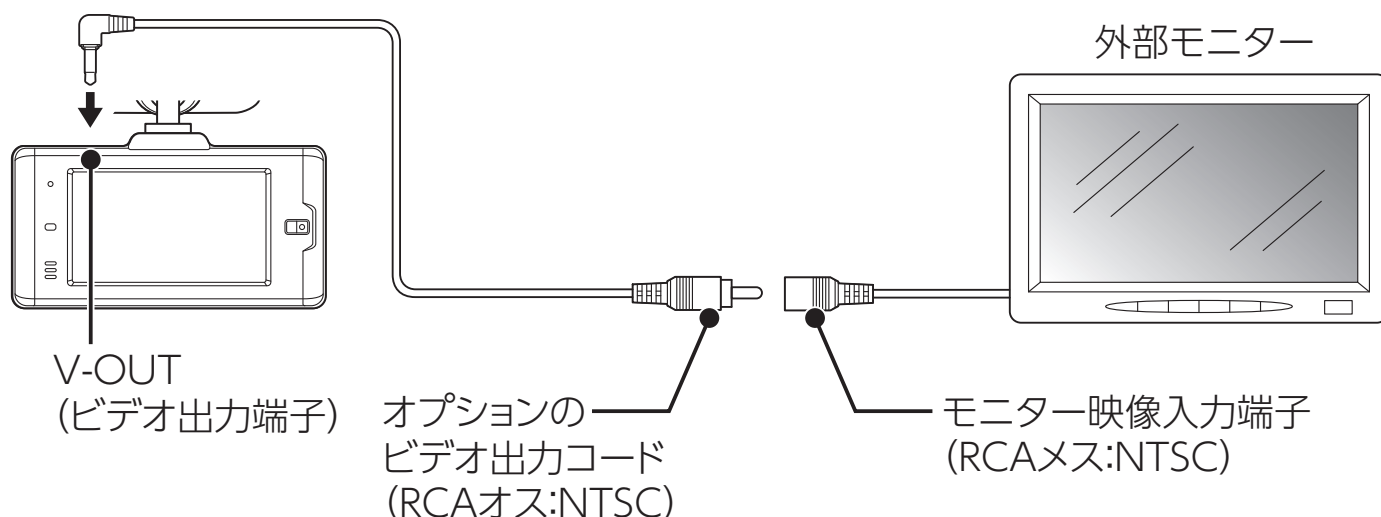
外部モニター表示

オプションのビデオ出力コードで本体のV-OUT（ビデオ出力端子）と外部モニターを接続すると本機の映像を外部のモニターに表示できます。（映像のみ、音声は出力されません）

⚠ 注意

本機で録画した映像は、外部モニターなどで再生することはできません。本機の画面にて再生をおこなってください。

■ 外部モニターとの接続



1. 画面中央下の【MENUボタン】をタップして、モード切替画面に切りかえる。

2. 【設定モード】を選択（タップ）する。



3. 画面右の【▲▼】をタップして、【V-OUT】を選ぶ。



4. V-OUTの設定内容をタップして、【オン】にする。

5. 【戻る】をタップして、モード切替画面までもどる。



6. 【録画モード】を選択（タップ）する。

確定後、本機の画面がオフになり、外部モニターに映像が表示されます。

* 再度、本機の画面をタップするとモード切替画面にもどります。

外部モニターの表示内容

本体の画面をロングタップするとカメラ映像が切りかわります。

カメラ表示	外部モニターの表示内容
本体カメラ+別体カメラ	
本体カメラ	
別体カメラ	

* 必ずオプションのビデオ出力コードをご使用ください。他のコードを使用すると映像が正しく表示されない、または誤動作を起こす場合があります。

* モニターの種類によっては端子の形状が異なる場合があります。

* 電源ON時、一時画像が乱れることがありますが、異常動作ではありません。

* 本体の画面をタップすると、モード切替画面になります。

セルスター製セーフティレーダーに接続

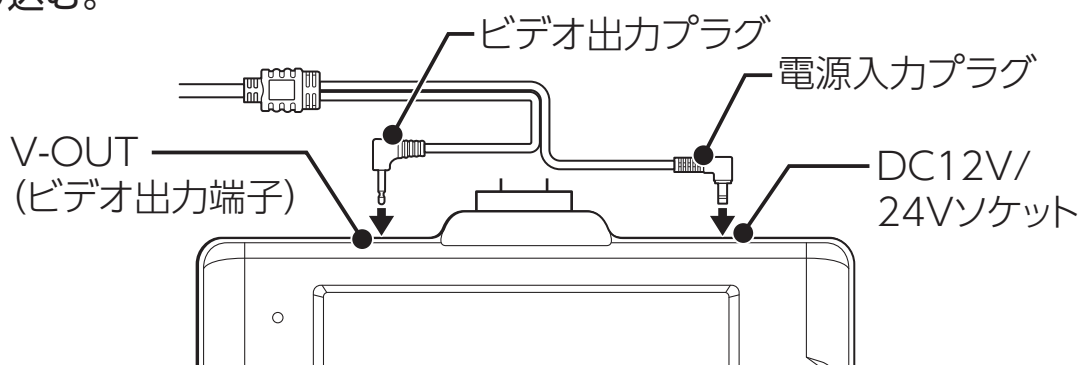
オプションのセーフティレーダー接続コード（3極DCプラグ）で本機とセルスター製セーフティレーダー（カメラ警告対応）を接続すると、本機の映像をセーフティレーダーに表示することができます。また、本機の電源もセーフティレーダーから供給されます。

* 本機に適合したオプション品の型番は、弊社ホームページの接続対応表をご覧ください。
(<https://www.cellstar.co.jp>)

⚠ 注意

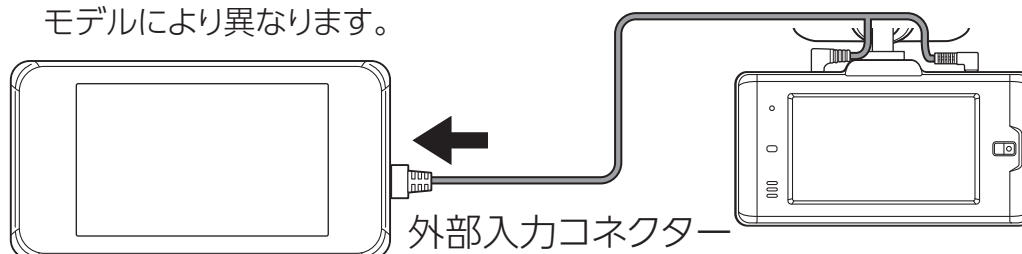
本機で録画した映像は、セーフティレーダーの画面で再生することはできません。
必ず本機の画面にて再生をおこなってください。

1. セーフティレーダー接続コードのビデオ出力プラグと電源入力プラグを本機に差し込む。



2. セーフティレーダー接続コードの外部入力コネクタをセーフティレーダーの外部入力ソケットに差し込む。

* セーフティレーダー本体のイラストはモデルにより異なります。



V-OUT（ビデオ出力）の設定を変更してください。【➡P51】

3. セーフティレーダーの取扱説明書を参照し外部入力の設定を変更する。

オン（待受、警告）

カメラ警告（ライブビュー）として使用する設定

オン（モニター）

ドライブレコーダーのモニターとして使用する設定

撮影モードについて

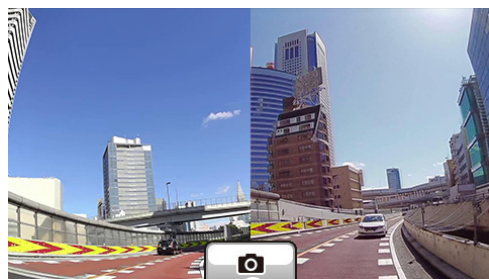
手動で静止画を撮影するモードです。撮影した画像は、microSDカードの[CAPTURE]フォルダに保存されます。

- * 静止画がmicroSDカード総容量の2%に保存されます。最大容量を超えた場合、古いデータから上書きされます。
- * 撮影された静止画（JPGファイル）は、本機や専用ビューアソフトで表示できません。直接パソコンからmicroSDカードを参照してください。
- * 画面表示が「オン 時計」、「オン 速度」、「オフ」、「オフ 画面、LED、ボイス」の場合、画面をタップするとカメラ映像を表示して操作が可能になります。



1. 画面中央下の【MENUボタン】をタップして、モード切替画面に切りかえる。

2. 【撮影モード】を選択（タップ）する。



カメラアイコン

カメラアイコンを
タップ

撮影

カメラアイコン
以外をタップ

撮影機能終了

* JPEG形式の画像で保存されます。

取扱説明書QRコード表示

取扱説明書(本書)のPDFをダウンロードするQRコードを表示できます。表示には、PDFを表示するビューアが必要になります。

1. 画面中央下の【MENUボタン】をタップして、モード切替画面に切りかえる。
2. 【設定モード】を選択(タップ)する。
3. 画面右の【▲▼】をタップして、【取扱説明書QRコード表示】を選択(タップ)する。
本機の画面にQRコードが表示されます。
4. QRコードをスマートフォンで読みとり、取扱説明書のPDFを表示させる。



QRコードの表示を終了して録画モードにもどる場合は、画面右の【戻る】をタップしてモード切替画面までもどり、【録画モード】をタップします。

情報(本体ソフトウェア、技術適合マーク表示)

1. 画面中央下の【MENUボタン】をタップして、モード切替画面に切りかえる。
2. 【設定モード】を選択(タップ)する。
3. 画面右の【▲▼】をタップして、【情報】を選択(タップ)する。
本機の画面に本体ソフトウェアと技術適合マークが表示されます。



情報の表示を終了して録画モードにもどる場合は、画面右の【戻る】をタップしてモード切替画面までもどり、【録画モード】をタップします。

フォーマット

microSDカードを初期化し、microSDメンテナンスフリー機能により、セルスター独自のファイルシステムが適応されます。

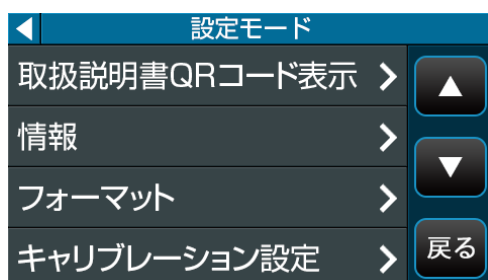
* microSDカード内の録画ファイルなどがすべて消去されます。あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで録画ファイルのバックアップをおこなうことをおすすめします。

* 本機でフォーマットしても本体の設定値は工場出荷時にもどりません。

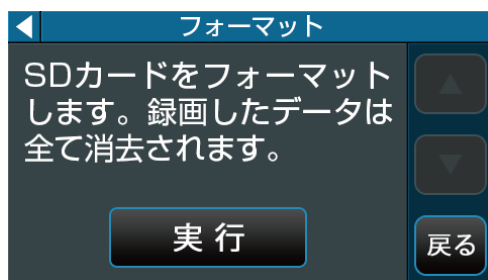


1. 画面中央下の【MENUボタン】をタップして、モード切替画面に切りかえる。

2. 【設定モード】を選択（タップ）する。

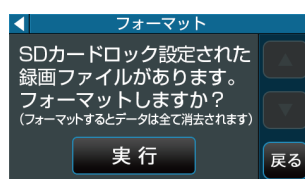


3. 画面右の【▲▼】をタップして、【フォーマット】を選択（タップ）する。



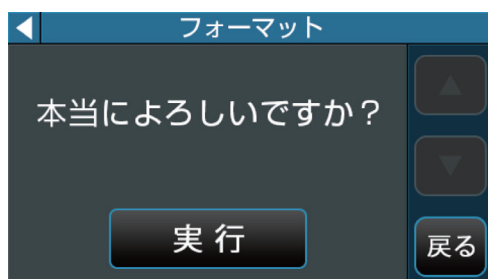
4. 【実行】をタップする。

キャンセルする場合は、画面右の【戻る】をタップします。



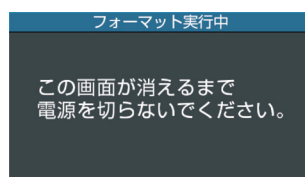
* ロックした録画ファイルがある場合は、本機の画面に上のメッセージが表示されます。必要に応じてロックを解除してください。

【➡P57】



5. 【実行】をタップする。

キャンセルする場合は、画面右の【戻る】をタップします。



本機の画面に「フォーマット実行中」と表示されます。フォーマット完了後、自動的に再起動をおこない、録画モードが開始されます。

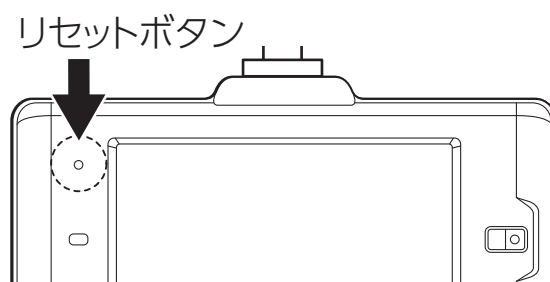
システムリセットと強制初期化（強制フォーマット）

本機が誤動作したり、止まってしまった場合、システムリセットまたは強制初期化（強制フォーマット）をおこなってください。

システムリセット

1. ピンなどを使用してリセットボタンを押す。

本機がリセットされます。



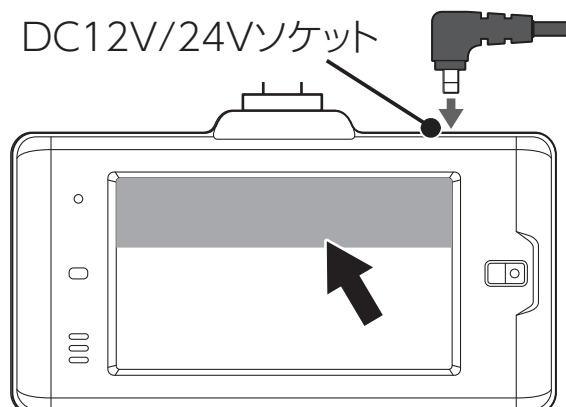
強制初期化（強制フォーマット）

強制初期化をおこなうと、本体の設定値が工場出荷時にもどります。必要に応じて再設定をおこなってください。[➡P48 ～ P52]

* microSDカード内の録画ファイルなどがすべて消去されます。あらかじめ、パソコンなどにバックアップすることをおすすめします。

1. DCコードのプラグを抜き、電源をOFFにする。
2. 画面の上部（本体反転時も上部）をタップしながらDCコードのプラグを接続し、電源を入れる。

しばらくするとフォーマット動作に切りかわり、フォーマットが実行されます。



タッチパネルのキャリブレーション設定

タッチパネルの反応にズレが発生した場合、キャリブレーション設定にてタッチパネルを補正してください。

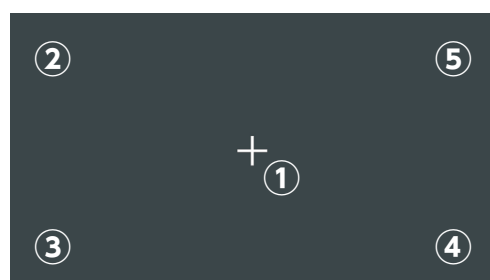


1. 画面中央下の【MENUボタン】をタップして、モード切替画面に切りかえる。

2. 【設定モード】を選択（タップ）する。



3. 画面右の【▲▼】をタップして、【キャリブレーション設定】を選択（タップ）する。



4. ①～⑤まで順番で十字（+）表示の真ん中をタップする。

選択が完了すると、キャリブレーション設定を終了し、設定モードへ切りかわります。

■ タッチパネルの補正に失敗した場合

タッチ補正に失敗しました。
もう一度、正確に画面の「+」
表示をタッチしてください。

本機の画面に左のエラーが表示されます。
再度、キャリブレーション設定をおこなっ
てください。

ドライブレコーダー専用ビューアソフトについて

本機で録画した映像の確認や本機の設定をパソコンでおこなうことができます。

本機の専用ビューアソフト（説明書含む）は、
下記のURLより機種を選択し、ダウンロードしてください。
https://www.cellstar.co.jp/dlfm/download_viewer.php

専用ビューアソフトの動作環境

CPU： Intel® Core™ i5 / i7（Haswell 第4世代以上、
Quad-Core DesktopCPU 2.5GHz） /
AMD Ryzen™ 以上（Quad-Core DesktopCPU 2.5GHz以上）
* モバイル、低電力CPUは除外

GPU： Intel® HD Graphics 4500以上 /
AMD Radeon™ 第9世代（HD6350） 以上 /
NVIDIA® GeForce™ 400 series（GT430） 以上

メモリ： 8GB 以上 / 16GB推奨

HDD： 4GB 以上

OS： Windows 11

その他： DirectX 9.0以上 / 11推奨

モニター解像度： FULL HD(1920x1080 ピクセル) 以上を推奨

専用ビューアソフトのインストール方法

1. viewer.zipをダウンロードして、圧縮解凍ソフトでファイルを解凍する。
2. viewerフォルダを開く。
3. フォルダ内の専用ビューア説明書を参照し、専用ビューアソフトをインストールする。
4. setup.exeを起動する。
インストールが開始されます。
専用ビューアソフトの使い方は、「専用ビューア説明書.pdf」をご覧ください。

故障かな？と思ったら

修理をご依頼される前に、もう一度次のことをご確認ください。

また、弊社ホームページのよくあるご質問（FAQ）を参照してください。

<https://faq.cellstar.co.jp/>



症状	考えられる原因
電源が入らない	- DCコードのヒューズが切れていませんか。 - 本機は専用のDCコード（3極DCプラグ）を使用してください。
SDカードを認識しない。	- microSDカードは正しく挿入されていますか。 * microSDカードを挿入していないと録画が開始されません。
起動時間が長い	microSDカードの容量によっては起動時間が長くなる場合があります。
録画が開始されない	- microSDカードは正しく挿入されていますか。 * microSDカードに異常がある場合もエラーとなり録画が開始されません。その場合は、microSDカードを取り換えてご使用ください。その際は指定のmicroSDカードをご使用ください。
	- microSDカード内の録画ファイルが破損した可能性があります。 * microSDカードをフォーマットしてください。
急ブレーキや急加速のときでも、データが保護されない。またはすぐに反応してしまう	「3Gセンサー感度」を調整してください。 * 使用状況にあわせて、この設定を調整することをおすすめします。
頻繁にイベント録画されるまたは録画されない	「3Gセンサー感度」を調整してください。 * 使用状況にあわせて、この設定を調整することをおすすめします。
画面が表示されない	- 画面がオフになっていませんか。 - V-OUT（ビデオ出力）がオンになっていませんか。

症状	考えられる原因
再起動する	本機に異常があった場合、連続動作するために自動的に再起動し復帰しますが、異常動作ではありません。
録画したデータと実際の走行状況が違う	日時、車両の走行速度、位置情報は、GPSの測位から算出するため、実際の数値と異なる場合があります。
パーキングモードを設定できない	本機が常時電源コードを認識していません。パワー（イグニッション）スイッチを入れなおしてください。
設定中に、フォーマット動作になった	通常時画像設定の変更をしていませんか。変更した場合、microSDカードメンテナンスフリー機能を使用するため、フォーマットが発生し、録画ファイルなどが消去されます。バックアップされていない場合、本体からDCコードをはずして電源がOFFになっていることを確認し、microSDカードを抜きパソコンなどにファイルのコピーでバックアップをおこなうことをおすすめします。
設定が初期値にもどる	- 本機以外でフォーマットをおこなっていませんか。 - 新しいmicroSDカードに交換していませんか。 * microSDカード内に本機の設定ファイルが無い場合設定が初期値にもどります。再設定をおこなってください。

製品の仕様

本体 カメラ		撮像素子	200 万画素 カラー CMOS センサー
		フレームレート	30fps
		視野角	水平 116°、垂直 59°、対角 145°
		F 値	2
		最低被写体照度	3LUX
		録画画素数	200 万画素 (FullHD) / 100 万画像 (HD) / 35 万画素 (D1)
	録画 画質	FullHD	高画質 (10Mbps) / 標準 (8Mbps) / 低画質 (6Mbps)
		HD	高画質 (6Mbps) / 標準 (4.5Mbps) / 低画質 (3Mbps)
		D1	高画質 (3Mbps) / 標準 (2Mbps) / 低画質 (1Mbps)
	録画 画角	FullHD	水平 116°、垂直 59°、対角 145°
		HD	水平 116°、垂直 59°、対角 145°
		D1	水平 93°、垂直 59°、対角 116°
別体カメラ		撮像素子	200 万画素 カラー CMOS センサー
		フレームレート	30fps
		視野角	水平 124°、垂直 62°、対角 160°
		F 値	2
		最低被写体照度	3LUX
		録画画素数	200 万画素 (FullHD) / 100 万画像 (HD) / 35 万画素 (D1)

はじめに	取り付けと準備	基本操作	各種設定	困ったときは	その他
------	---------	------	------	--------	-----

別体 カメラ	録 画 画 質	FullHD	高画質 (10Mbps) / 標準 (8Mbps) / 低画質 (6Mbps)
		HD	高画質 (6Mbps) / 標準 (4.5Mbps) / 低画質 (3Mbps)
		D1	高画質 (3Mbps) / 標準 (2Mbps) / 低画質 (1Mbps)
	録 画 画 角	FullHD	水平 119°、垂直 62°、対角 160°
		HD	水平 119°、垂直 62°、対角 160°
		D1	水平 94°、垂直 62°、対角 116°
録画圧縮			録画 AVI(H.264)、静止画 JPEG
録画トリガ	通常時	常時録画 / 常時録画+イベント録画 / クイック録画	
	パーキング モード時	常時録画 / モーション録画 / 常時録画 + イベント録画 / モーション録画 + イベント録画	
GPS			有り
HDR			有り
3G センサー			有り (衝撃感度 10 段階)
対応外部記憶媒体			microSD カード 32GB (クラス 10/SDHC 規格準拠)、64GB ~ 128GB (クラス 10/SDXC 規格準拠)、その他、スピードクラスとして下記以上を推奨 SD スピード Class : Class10 UHS スピードクラス : U1 以上 Video スピードクラス : V30 以上 * 弊社オプションmicroSDカード推奨
記録データ			日時、加速度、走行速度、位置情報、映像ファイル
音声録音			有り (オン、オフ設定可)
外部映像出力			有り (本体ディスプレイか外部かどちらか一方のみ) * 再生時なし

インターネット地図連動	有り
電源電圧	DC12V/24V
動作温度範囲	− 10℃ ～ + 60℃
本体サイズ	87 (W) × 25 (D) × 45 (H) mm (突起部含まず) * マウントベース取り付け時76 (H) mm
本体重量	91g
別体カメラサイズ	34.5 (W) × 16 (D) × 34.5 (H) mm (突起部含まず) * マウントベース取り付け時59 (H) mm
別体カメラ重量	19g
VCCI	クラス B
保証期間	3 年

* 「ドライブレコーダー協議会ガイドライン」に基づく表記。

* 録画の条件により、録画のフレームレートやビットレートが変わる場合があります。

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

本装置は、VCCI協会の運用規定に基づく技術基準に適合したマークを画面に電子的に表示しています。表示の操作方法は取扱説明書（本書）の **【➡P76】** に記載しております。

はじめに	取り付けと準備	基本操作	各種設定	困ったときは	その他
------	---------	------	------	--------	-----

常時録画 撮影可能時間の目安

録画時間 [min] / microSD カードの容量		録画品質		
		高画質	標準	低画質
32GB	FHD	約 98 分	約 120 分	約 144 分
	HD	約 166 分	約 240 分	約 362 分
	D1	約 402 分	約 544 分	約 837 分
64GB	FHD	約 196 分	約 240 分	約 290 分
	HD	約 332 分	約 480 分	約 732 分
	D1	約 813 分	約 1098 分	約 1688 分
128GB	FHD	約 392 分	約 480 分	約 576 分
	HD	約 664 分	約 960 分	約 1446 分
	D1	約 1608 分	約 2169 分	約 3338 分

イベント録画 撮影可能時間の目安

録画時間 [min] / microSD カードの容量		録画品質		
		高画質	標準	低画質
32GB	FHD	約 27 分	約 33 分	約 39 分
	HD	約 44 分	約 66 分	約 97 分
	D1	約 97 分	約 126 分	約 157 分
64GB	FHD	約 53 分	約 67 分	約 79 分
	HD	約 88 分	約 132 分	約 193 分
	D1	約 193 分	約 254 分	約 318 分
128GB	FHD	約 107 分	約 130 分	約 157 分
	HD	約 177 分	約 263 分	約 387 分
	D1	約 387 分	約 503 分	約 628 分

パーキングモードのmicroSDカード別最大録画時間

microSD カードの容量	最大録画時間
32GB	約 866 分
64GB	約 1741 分
128GB	約 3463 分

* 撮影の状況、被写体などにより記録されるファイルサイズは一定でないため、記録可能時間に差が生じる場合があります。上記は、あくまでも目安となります。

microSDカードのデータについて

■ イベント録画フォルダ (EVENT)

イベントが発生した動画または、クイック録画機能で録画した動画を保存します。(microSDカード全体容量の20%を使用)

1：本体カメラ映像

2：別体カメラ映像

■ 常時録画フォルダ (INFINITE)

常時録画された1分間の動画*または、パーキングモードのモーション録画で録画された動画を保存します。(microSDカード全体容量の73%を使用)

1：本体カメラ映像

2：別体カメラ映像

* パーキングモード時は、画像モード設定により録画時間が変動します。

■ 撮影フォルダ (CAPTURE)

キャプチャーした画像を保存します。(microSDカード全体容量の2%を使用)

1：本体カメラ映像

2：別体カメラ映像

[全国自動車用品工業会会員] [一般社団法人ドライブレコーダー協議会会員]
[一般社団法人日本自動車部品工業会会員] [東京都自動車部品組合会員]

<https://www.cellstar.co.jp>

CELLSTAR®

セルスター工業株式会社

PP- E422MN 2026.9